

## 第2章

### 田辺市水道事業の概要

- 2.1 田辺市の特性
- 2.2 田辺市水道事業の沿革
- 2.3 田辺市水道事業の現状

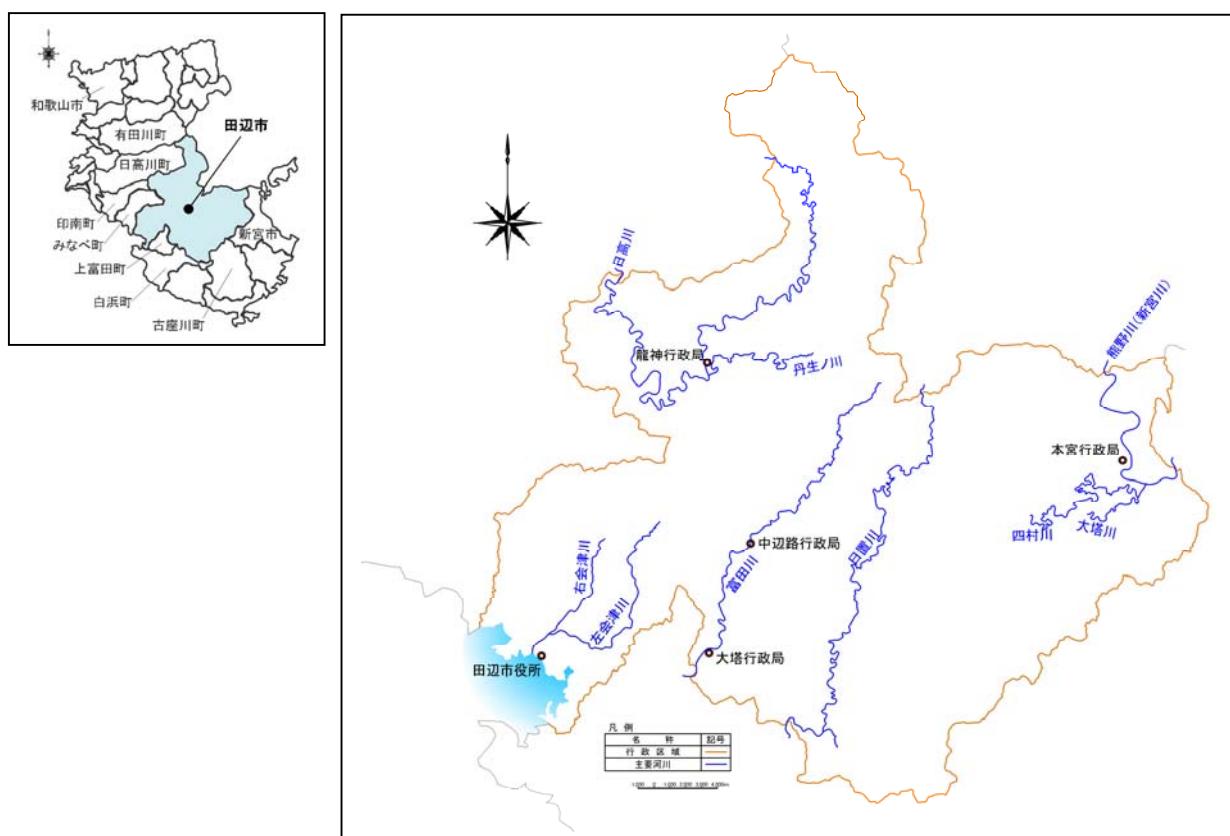
## 2. 1 田辺市の特性

## 1) 位置と地勢

田辺市は、紀伊半島の南西部、和歌山県の南部に位置しており、有田川町、日高川町、印南町、みなべ町、上富田町、白浜町、古座川町、新宮市、奈良県十津川村、野迫川村に接し、東西約46km、南北約47km、総面積1,026.91km<sup>2</sup>の広大な面積を有しています。

また、市の地形は、西寄りの海岸部に都市的地域を形成するほかは、約9割を森林が占める中山間地域が広がっており、さらに、日高川、富田川、日置川、熊野川の河川流域には、自然環境豊かな地域が形成されています。

交通については、海岸部に沿ってJR紀勢本線が通っており、JR紀伊田辺駅から大阪市内までの所要時間は約2時間、南紀白浜空港から東京国際空港(羽田)まで約1時間となっており、また、平成19年11月に近畿自動車道紀勢線が田辺市まで延伸したことにより、京阪神地域・関西国際空港まで車で約2時間と大都市への交通の利便性がさらに高まりました。



## 2) 土地利用

土地利用の現状は、全体面積の88.4%を森林が占めています。続いて農用地は3.5%、宅地は1.3%、それ以外の土地利用は6.8%となっています。

また、地形の形成状況は、海岸部から平野部を経て、広大な山地部へ移行しています。

### 【土地利用状況】

区分	面積	割合
農用地	35.96km <sup>2</sup>	3.5%
森林	907.28km <sup>2</sup>	88.4%
水面・河川・水路	18.14km <sup>2</sup>	1.8%
道路	19.64km <sup>2</sup>	1.9%
宅地	13.69km <sup>2</sup>	1.3%
その他	32.20km <sup>2</sup>	3.1%
合計	1026.91km <sup>2</sup>	100.0%



資料：市土地対策課(平成27年10月1日現在)

## 3) 気候

気候は、海岸部については黒潮の影響を受けるため、寒暖の差が比較的小さい温暖多雨な太平洋型気候となっています。また、山間部については、1,000m級の山々がそびえていることから寒暖の差がある内陸型の気候となっており、市内でも地域差がみられます。

### 【気象状況】

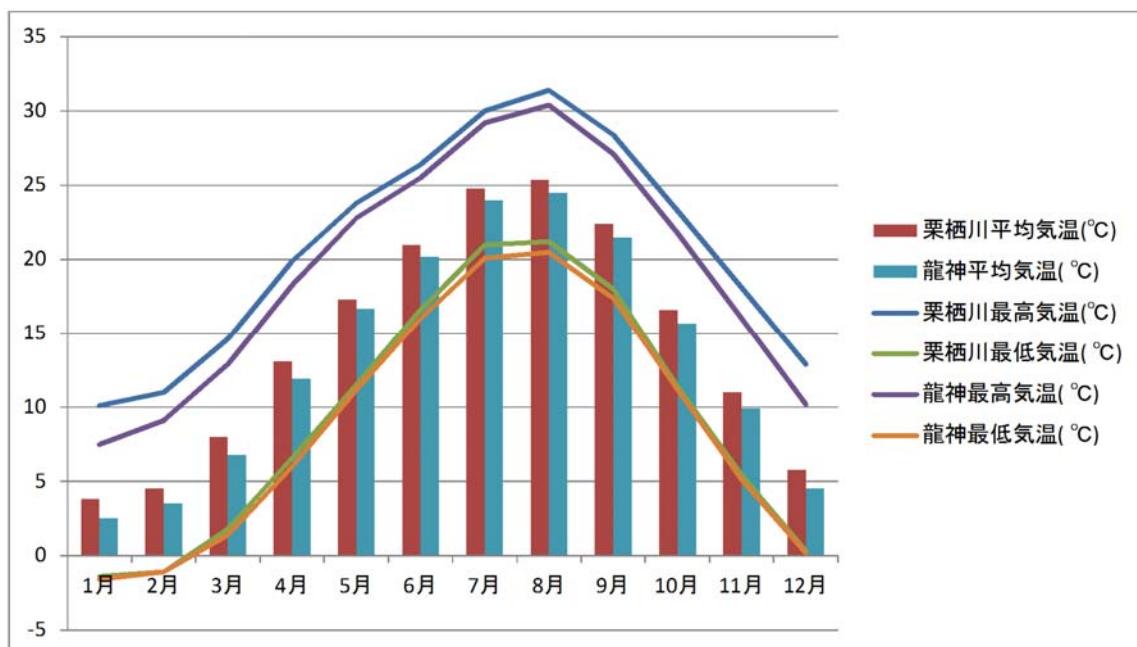
栗栖川地域気象観測所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	3.8	4.5	8.0	13.1	17.3	21.0	24.8	25.4	22.4	16.6	11.0	5.8
最高気温 (°C)	10.1	11.0	14.6	19.9	23.8	26.4	30.0	31.4	28.4	23.3	18.1	12.9
最低気温 (°C)	-1.4	-1.1	1.8	6.6	11.5	16.6	21.0	21.2	18.0	11.4	5.4	0.3
降水量 (mm)	91.0	104.8	176.6	191.5	266.3	347.8	352.8	234.1	265.8	171.2	123.1	71.4
日照時間 (時間)	149.3	146.6	166.2	182.8	170.9	129.6	151.3	187.4	144.9	151.9	148.7	154.6

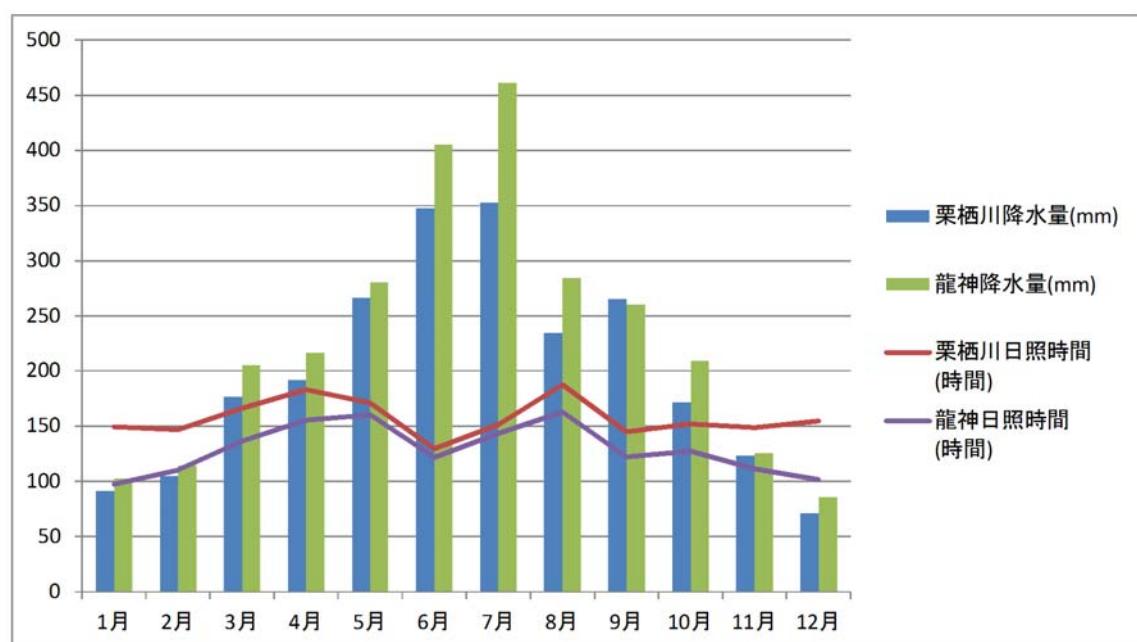
龍神地域気象観測所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	2.5	3.5	6.8	11.9	16.7	20.2	24.0	24.5	21.5	15.7	9.9	4.5
最高気温 (°C)	7.5	9.1	12.9	18.3	22.8	25.5	29.2	30.4	27.1	21.8	16.0	10.2
最低気温 (°C)	-1.6	-1.1	1.4	6.0	11.2	16.0	20.1	20.5	17.4	11.2	5.1	0.2
降水量 (mm)	102.7	114.3	205.1	216.1	280.6	405.1	461.5	284.6	260.3	209.0	125.5	85.6
日照時間 (時間)	97.6	110.2	136.1	155.4	160.1	121.7	143.5	162.6	122.1	127.1	111.3	101.6

【気温(℃)】



【降水量(mm)及び日照時間(時間)】



※ 気象庁の統計から、田辺市内観測所(栗栖川・龍神)における平年値を用いました。  
平年値は、(1981～2010年)の30年間の観測値の平均をもとに算出しています。

## 4) 人口

### (1) 総人口及び年齢別人口

総人口は、平成27年の国勢調査結果では74,419人となり、平成7年以降、年々減少傾向が強まっています。

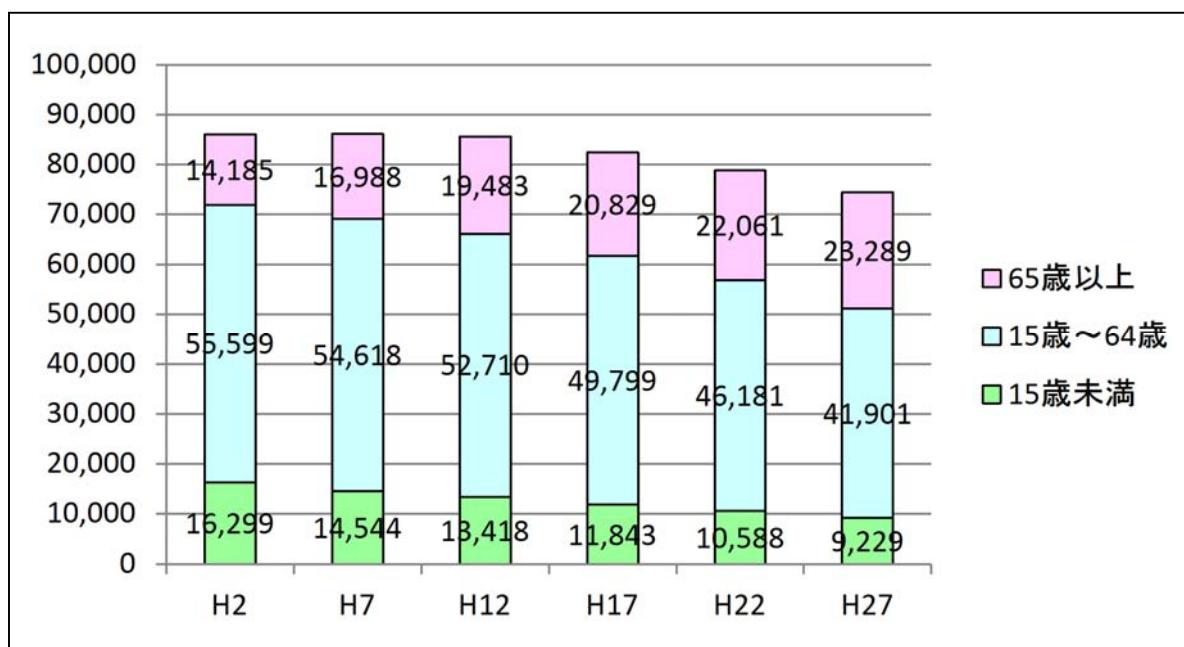
平成27年における総人口に占める年少人口の割合は12.4%で、全国平均12.6%をやや下回っています。また、生産年齢人口についても56.3%で全国平均60.7%より低く、老年人口については31.3%と全国平均26.6%を上回る結果となり、本市における高齢化の進行が年々顕著になっています。

### 【人口の推移】

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	(単位：人) 全国平均 (平成27年)
総人口	86,083	86,150	85,611	82,471	78,830	74,419	
年少人口 15歳未満	16,299	14,544	13,418	11,843	10,588	9,229	
	18.9%	16.9%	15.7%	14.4%	13.4%	12.4%	12.6%
生産年齢人口 15歳～64歳	55,599	54,618	52,710	49,799	46,181	41,901	
	64.6%	63.4%	61.5%	60.4%	58.6%	56.3%	60.7%
老年人口 65歳以上	14,185	16,988	19,483	20,829	22,061	23,289	
	16.5%	19.7%	22.8%	25.2%	28.0%	31.3%	26.6%

資料：国勢調査

### 【年齢別人口（人）】



## (2) 就業人口

就業人口の総数は、平成7年まで増加していましたが、平成12年より減少傾向に転じており、それに伴い就業率もやや下降しています。

あわせて産業別の就業人口についても、すべての産業で減少傾向を示しています。

平成27年における就業人口の産業別構成比は、第1次産業が12.3%で全国平均3.8%と比較して極めて高く、第2次産業が18.8%で全国平均23.6%より低くなっています。また、第3次産業については、67.5%で全国平均67.2%より若干高くなっています。

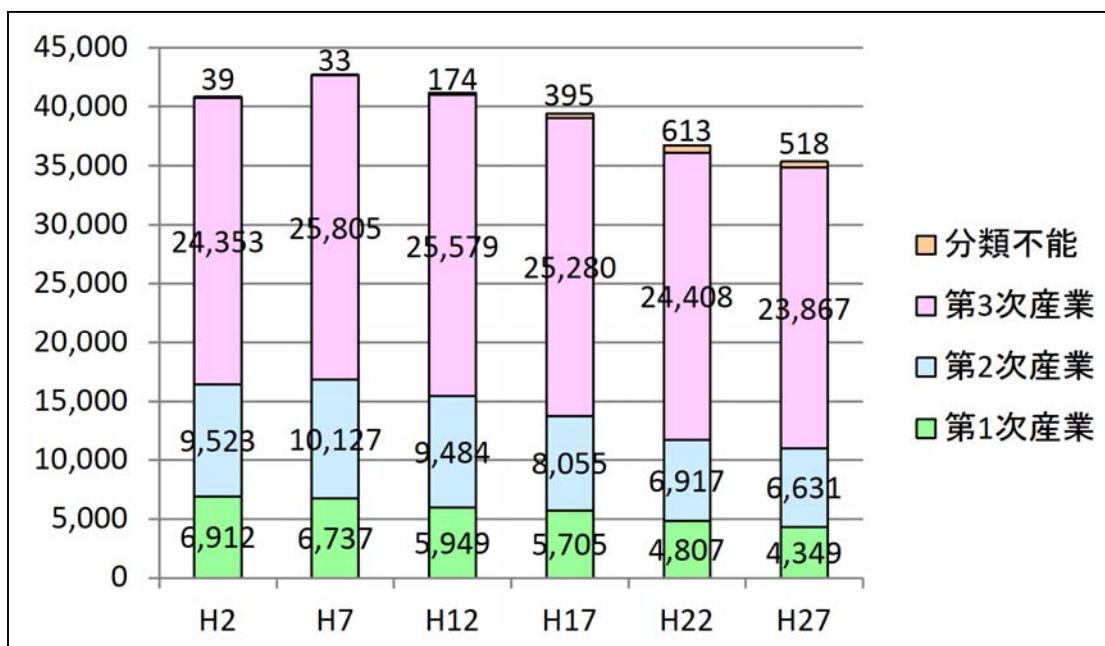
## 【産業就業人口の推移】

(単位：人)

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	全国平均 (平成27年)
就業人口	40,827	42,702	41,186	39,435	36,745	35,365	
就業率	58.5%	59.6%	57.0%	55.8%	53.8%	54.2%	
第1次産業	6,912	6,737	5,949	5,705	4,807	4,349	
	16.9%	15.8%	14.4%	14.5%	13.1%	12.3%	3.8%
第2次産業	9,523	10,127	9,484	8,055	6,917	6,631	
	23.3%	23.7%	23.0%	20.4%	18.8%	18.8%	23.6%
第3次産業	24,353	25,805	25,579	25,280	24,408	23,867	
	59.6%	60.4%	62.1%	64.1%	66.4%	67.5%	67.2%
分類不能	39	33	174	395	613	518	
	0.1%	0.1%	0.4%	1.0%	1.7%	1.5%	5.4%

資料：国勢調査

## 【産業別就業人口（人）】



## 2.2 田辺市水道事業の沿革

田辺市の水道施設は、明治の中頃に稻成町糸田の高山寺ふもとの会津川を水源として、元町尾の崎に集水槽を設けた施設が江川中町にありました。

しかし、町の中央部には施設がなく、井戸を掘り生活用水として利用していましたが水質が悪く、また夏冬には水量が不足するので自然水を利用していました。そのため伝染病が絶えず、保健衛生の面からも上水道の布設が望まれていました。

一方、国鉄紀伊田辺駅が開業し、周辺が開発され始め、また防火の上からも上水道が必要となっていました。

そこで、昭和8年から調査に着手、昭和11年5月町議会の議決を得て同年6月に上水道布設認可申請を行い、昭和11年12月上水道布設事業の認可を受けて工事に着手しました。

水源地を万呂村大字下万呂（現在の水道事業所）とし、江川上水道を買収して昭和14年4月1日から給水人口25,580人で給水を開始しました。

その後、周辺市町村の合併に伴う人口の増加で2回の拡張事業を実施して給水区域の拡大を行い、水源を会津川伏流水と地下水に求めましたが、昭和40年代前半の渇水で会津川からの取水が困難となり、夏には給水制限を行うこととなりました。

そのため、新たな水源を隣の富田川に求め、昭和46年8月上富田町との間で分水契約を締結、1日7,000m<sup>3</sup>を受水することで水不足は解消することができました。

しかしながら、昭和40年代後半から市郊外での開発が進み、また飲料水だけでなく生活用水としての水道利用も進み、丘陵地では水圧が低下し始めました。

第3回拡張事業変更では、芳養川に新たに水源を求め、浄水場・配水池などを建設して水需要に応えようとしたが、芳養水源は類のない「鉄バクテリア」による赤水が発生したため取水を中止せざるを得ませんでした。

そのため、昭和56年に上富田町からの受水量を5,000m<sup>3</sup>増量しました。

昭和50年代後半も開発が進むとともに、水道利用施設の建設などで使用量が増加、給水量が公称能力1日36,000m<sup>3</sup>を超えてきたため、新たな水源を確保すべく白浜町からの1日18,000m<sup>3</sup>受水を目的に、昭和61年8月第4回拡張事業の認可を受け工事に着手、平成4年3月に計画給水人口71,500人、1日最大給水量48,000m<sup>3</sup>の施設が完成し、会津川を水源とした西部水系、上富田町からの受水による東部水系、白浜町からの受水による中部水系を核とした現在の給水体系が確立されました。

平成17年5月の市町村合併を契機に、秋津川、日向、稻成簡易水道を上水道へ統合し、さらに平成22年4月には、長野、古屋谷、大坊団栗簡易水道を上水道に統合しました。

平成30年4月、龍神温泉、上宮代、龍神中央、福井・下柳瀬、福井・甲斐ノ川、甲斐ノ川・小家、湯ノ又・上広井原、鮎川、おおとう、川合、栗栖川、近野、小松原、真砂、下湯川、本宮、三里、川湯及び四村西簡易水道を上水道へ統合し、これにより、市内す

べての簡易水道の上水道への統合が完了しました。

現在の計画給水人口は82,233人、1日最大給水量は43,957.65m<sup>3</sup>となっています。

【田辺市街を望む風景】



## 【田辺市水道事業拡張等の経緯】

	創設事業	第1回拡張事業	第2回拡張事業
認可(届出)年月日	昭和11年12月1日	昭和31年2月16日	昭和38年12月27日
計画給水人口	25,580人	43,020人	60,500人
1日最大給水量	3,070m <sup>3</sup>	10,750m <sup>3</sup>	23,000m <sup>3</sup>
1人1日最大給水量	120L	250L	380L
竣工(譲受)年月日	昭和14年3月31日	昭和35年3月31日	昭和43年3月31日
総事業費	300千円	134,139千円	388,891千円
事業概要	集水管 取水井 ポンプ室 愛宕山配水池 (1,000m <sup>3</sup> )	ろ過池 (480m <sup>3</sup> 4池) 着水井 滅菌設備 愛宕山配水池 (3,000m <sup>3</sup> )	深井戸6基 浄水池

	第3回拡張事業	第3回拡張事業変更	第4回拡張事業
認可(届出)年月日	昭和45年2月5日	昭和49年3月30日	昭和61年8月26日
計画給水人口	63,000人	65,000人	71,500人
1日最大給水量	31,000m <sup>3</sup>	36,000m <sup>3</sup>	48,000m <sup>3</sup>
1人1日最大給水量	500L	550L	671L
竣工(譲受)年月日	昭和48年3月31日	昭和52年3月31日	平成4年3月31日
総事業費	350,000千円	1,028,842千円	4,769,336千円
事業概要	田川配水池 (1,000m <sup>3</sup> ) 田川中継所 三栖、上秋津、内之浦簡易水道 の統合 上富田町から分水 (日量7,000m <sup>3</sup> )	芳養配水池 (2,500m <sup>3</sup> ) 管理棟新築 テレメーター設備 芳養浄水場	中部配水池 (10,000m <sup>3</sup> ) 西部配水池 (5,000m <sup>3</sup> ) 上万呂配水池 (2,000m <sup>3</sup> ) 奥畠配水池 (120m <sup>3</sup> ) 中部・西部・上万呂・奥畠各中継所 中央監視制御設備 次亜塩素生成設備 白浜町から分水 (日量18,000m <sup>3</sup> )

	事業の軽微変更	事業変更認可	事業の軽微変更
認可(届出)年月日	平成17年4月25日	平成19年3月27日	平成22年3月16日
計画給水人口	73,242人	67,600人	69,308人
1日最大給水量	48,993m <sup>3</sup>	37,600m <sup>3</sup>	38,592.45m <sup>3</sup>
1人1日最大給水量	669L	556L	557L
竣工(譲受)年月日	平成17年5月1日	平成21年3月31日	平成22年4月1日
総事業費	—	115,000千円	—
事業概要	秋津川、日向、稻成簡易水道 の全部譲受	水源種別・浄水方法の変更 白浜町水道用水供給事業 創設に伴う水源変更 (分水→用水供給) 秋津川浄水場急速ろ過機設置 中芳養～上芳養間配水管連絡	長野、古屋谷、大坊団栗簡易水道 の全部譲受

	事業の軽微変更		
認可(届出)年月日	平成29年11月2日		
計画給水人口	82,233人		
1日最大給水量	43,957.65m <sup>3</sup>		
1人1日最大給水量	535L		
竣工(譲受)年月日	平成30年4月1日		
総事業費	—		
事業概要	龍神温泉、上宮代、龍神中央、 福井・下柳瀬、福井・甲斐ノ川、 甲斐ノ川・小家、湯ノ又・上広井原、 鮎川、おおとう、川合、栗栖川、 近野、小松原、真砂、下湯川、本宮、 三里、川湯及び四村西簡易水道 の全部譲受		

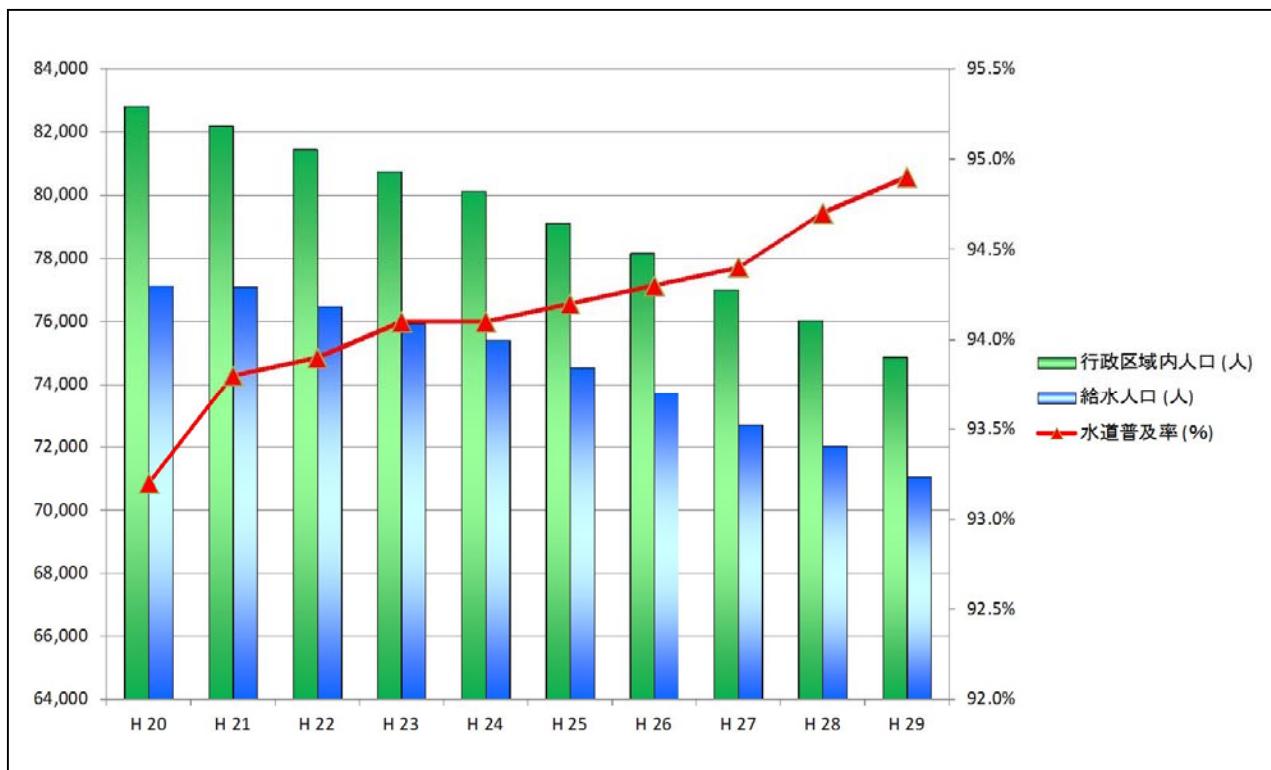
## 2.3 田辺市水道事業の現状

### 1) 給水状況

田辺市内における水道普及率は、平成29年度実績で94.9%です。

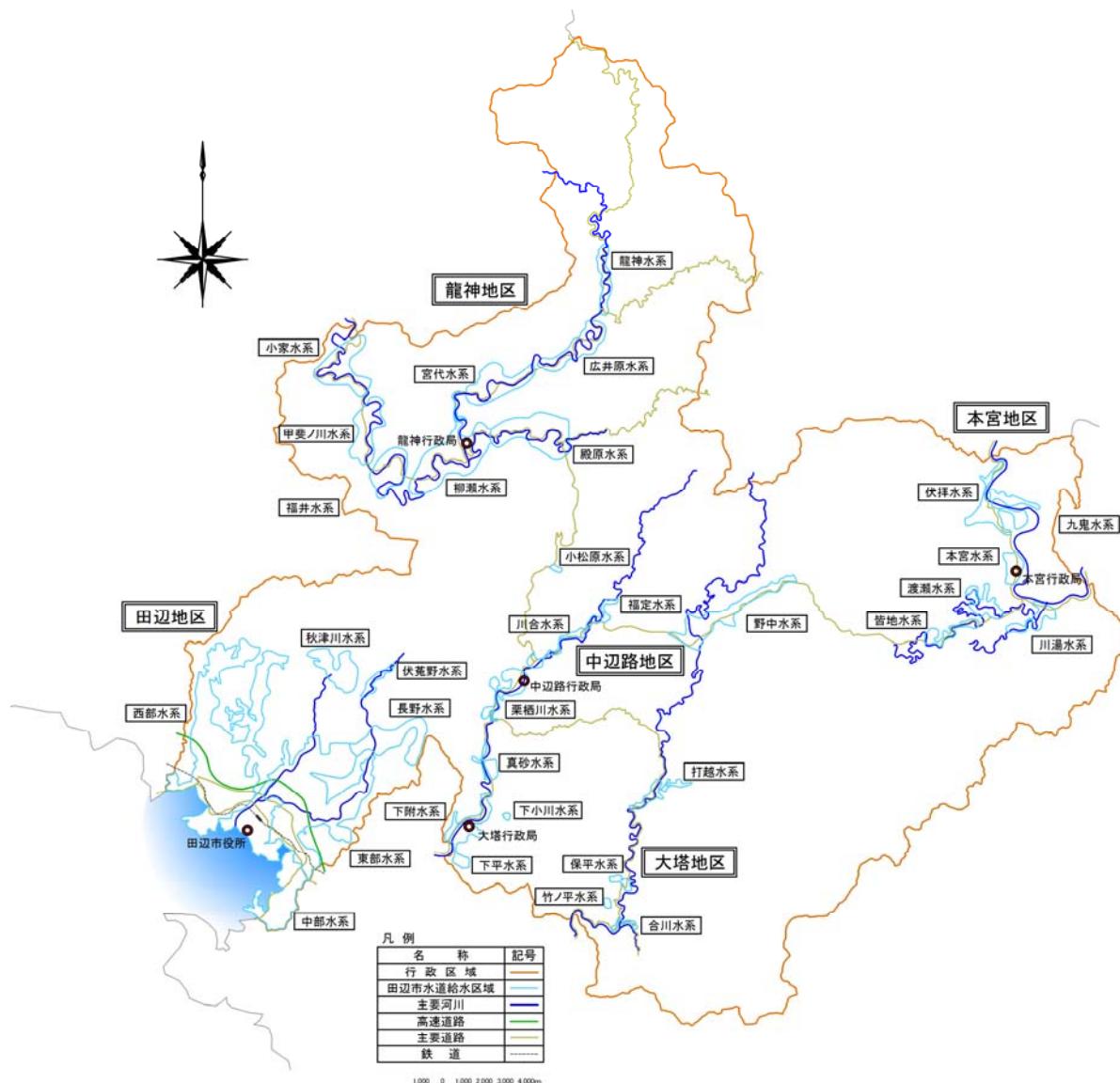
#### 【水道普及状況】

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
行政区域内人口	(人)	82,805	82,188	81,443	80,743	80,117
給水人口	(人)	77,145	77,106	76,484	75,939	75,413
水道普及率	(%)	93.2%	93.8%	93.9%	94.1%	94.1%
給水戸数	(戸)	33,027	33,392	33,545	33,614	33,869
項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
行政区域内人口	(人)	79,116	78,168	77,012	76,046	74,877
給水人口	(人)	74,555	73,714	72,702	72,038	71,060
水道普及率	(%)	94.2%	94.3%	94.4%	94.7%	94.9%
給水戸数	(戸)	33,883	33,937	33,788	33,849	33,757



## 2) 田辺市水道事業の水系図及び施設位置図

本市の水道事業は、計33の水系に区分され分布しており、運営しております。その他にも、水道未普及地域では飲料水供給施設などといった小規模な施設も多数存在しています。



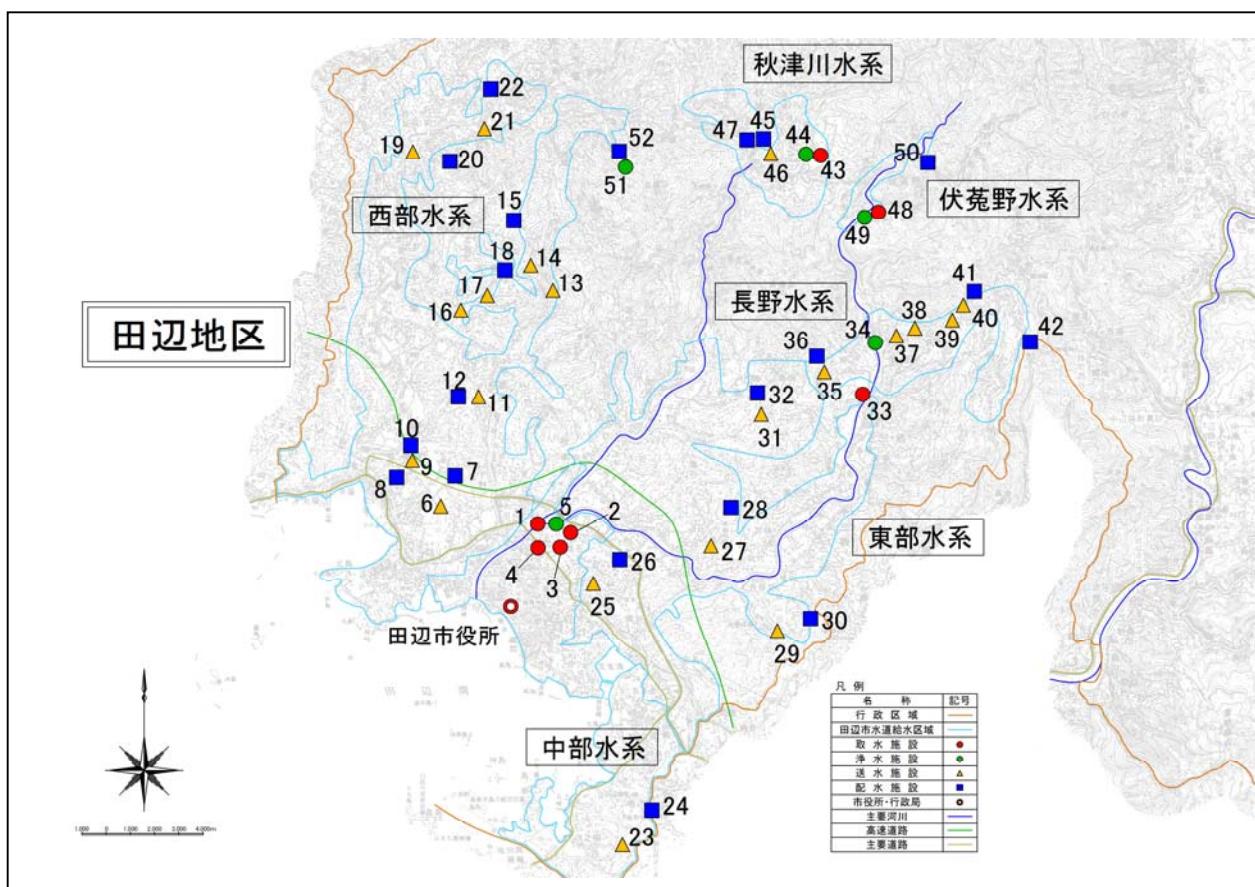
地区名	田辺地区		龍神地区		中辺路地区		大塔地区		本宮地区	
水系名	1 西部水系	7 龍神水系	15 野中水系	21 下附水系	28 伏揮水系					
	2 中部水系	8 広井原水系	16 福定水系	22 下平水系	29 九鬼水系					
	3 東部水系	9 宮代水系	17 川合水系	23 下小川水系	30 本宮水系					
	4 長野水系	10 殿原水系	18 小松原水系	24 打越水系	31 渡瀬水系					
	5 秋津川水系	11 柳瀬水系	19 栗栖川水系	25 保平水系	32 川湯水系					
	6 伏菟野水系	12 福井水系	20 真砂水系	26 竹ノ平水系	33 皆地水系					
		13 甲斐ノ川水系		27 合川水系						
		14 小家水系								

## (1) 田辺地区の水道施設

田辺地区は6つの水系に分かれており、近年整備された比較的新しい施設と、昭和30～40年代に整備された耐用年数が近い施設が混在しており、今後計画的に老朽化施設の更新を進めていく必要があります。

西部水系、秋津川水系及び長野水系については、表流水または地下水を水源とし、緩速ろ過または急速ろ過方式による浄水処理を行っています。伏菟野水系については、地下水を水源とし、膜ろ過方式により浄水処理を行っています。また、中部水系は白浜町から、東部水系は上富田町からそれぞれ浄水の用水供給を受けています。

【田辺地区の施設位置図】

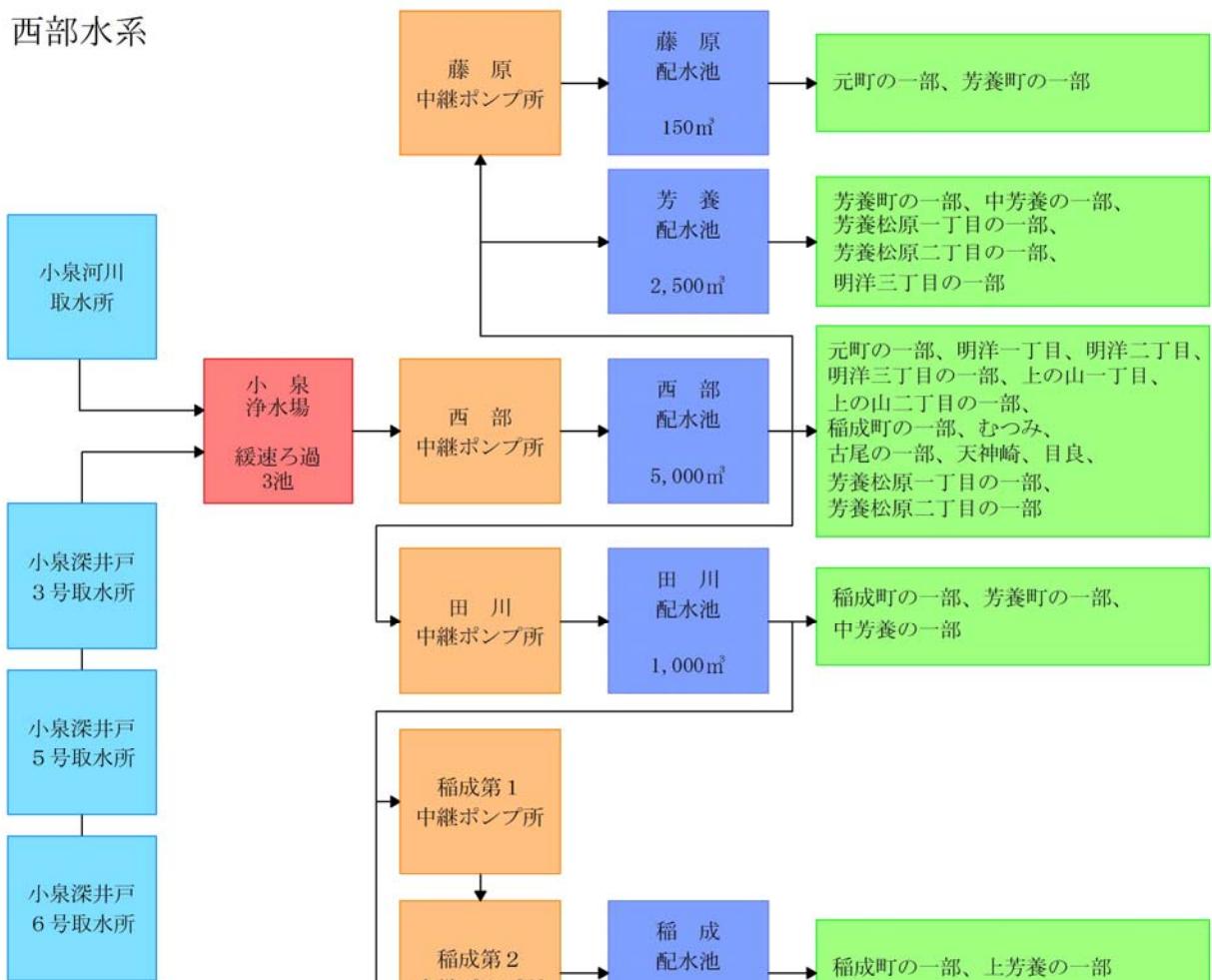


田辺地区水道施設一覧

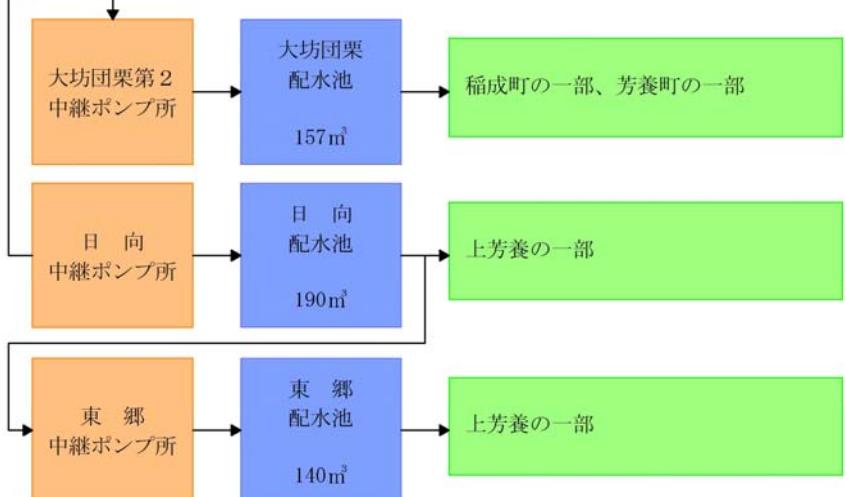
1 小泉河川取水所	14 稲成第2中継ポンプ所	27 上万呂中継ポンプ所	40 東原長尾第4中継ポンプ所
2 小泉深井戸3号取水所	15 稲成配水池	28 上万呂配水池	41 長尾配水池
3 小泉深井戸5号取水所	16 大坊団栗第1中継ポンプ所	29 岩屋谷中継ポンプ所	42 上野配水池
4 小泉深井戸6号取水所	17 大坊団栗第2中継ポンプ所	30 岩屋谷配水池	43 秋津川取水所
5 小泉浄水場	18 大坊団栗配水池	31 奥畠中継ポンプ所	44 秋津川浄水場
6 西部中継ポンプ所	19 日向中継ポンプ所	32 奥畠配水池	45 秋津川第1配水池
7 西部配水池	20 日向配水池	33 長野取水所	46 秋津川中継ポンプ所
8 芳養配水池	21 東郷中継ポンプ所	34 長野浄水場	47 秋津川第2配水池
9 藤原中継ポンプ所	22 東郷配水池	35 西原中継ポンプ所	48 伏菟野取水所
10 藤原配水池	23 中部中継ポンプ所	36 西原配水池	49 伏菟野浄水場
11 田川中継ポンプ所	24 中部配水池	37 東原長尾第1中継ポンプ所	50 伏菟野配水池
12 田川配水池	25 東部中継ポンプ所	38 東原長尾第2中継ポンプ所	51 古屋谷浄水場(休止)
13 稲成第1中継ポンプ所	26 東部配水池	39 東原長尾第3中継ポンプ所	52 古屋谷配水池(休止)

【田辺地区施設系統図】

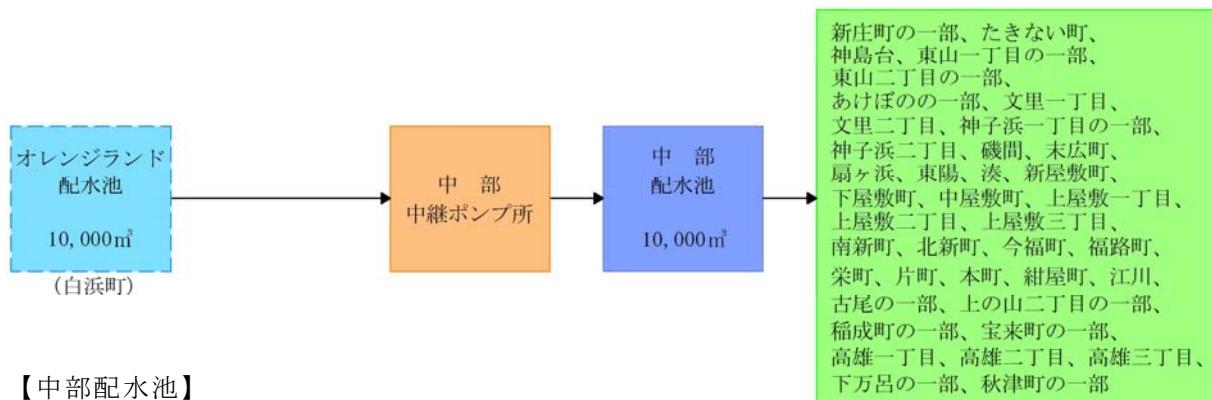
## 西部水系



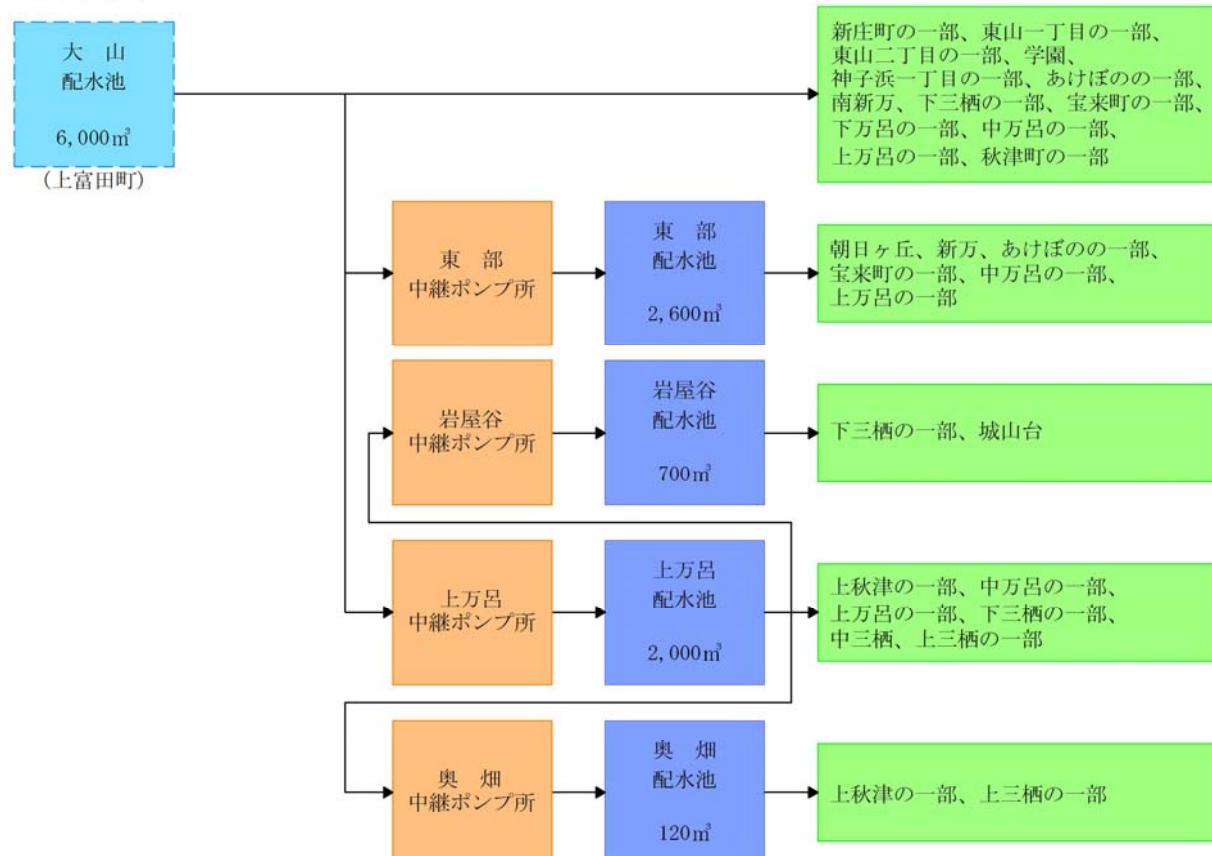
【西部中継ポンプ所】



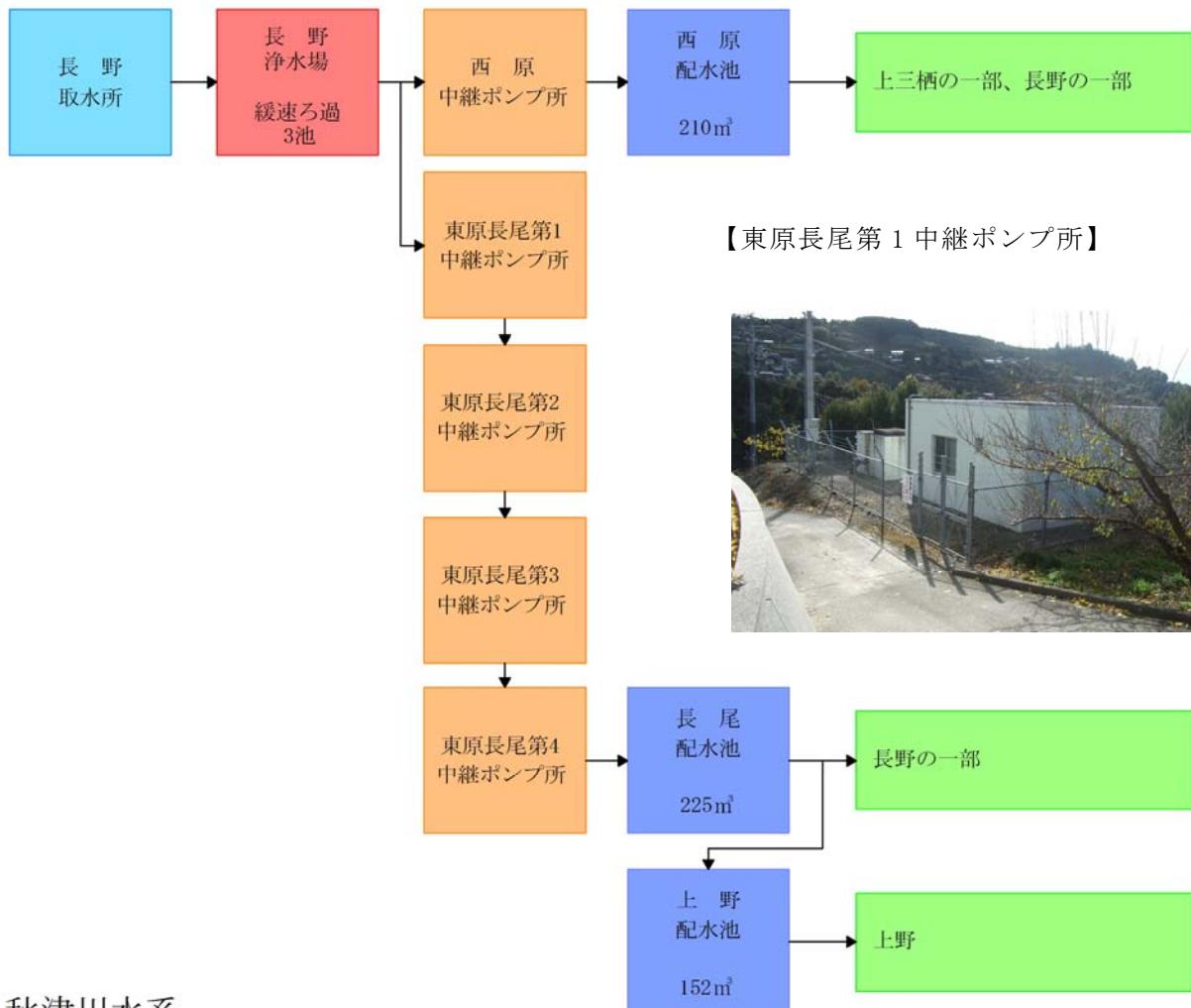
## 中部水系



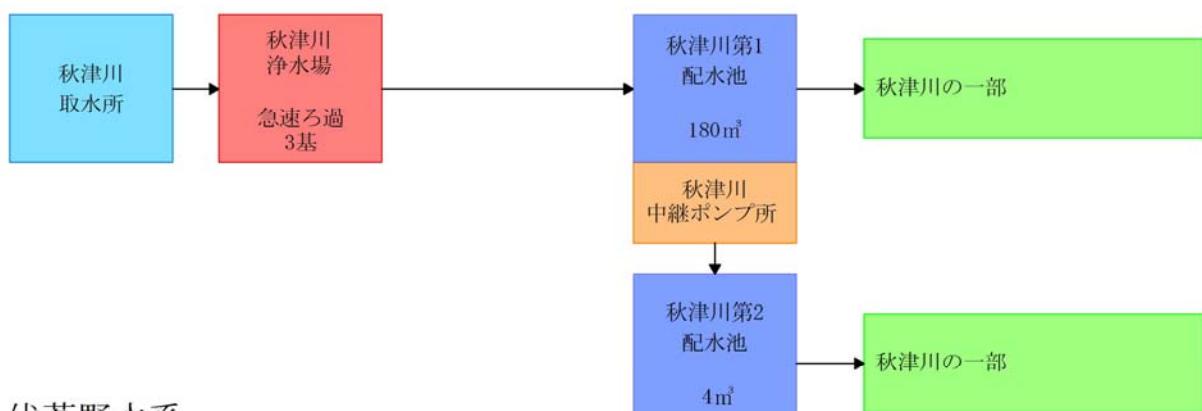
## 東部水系



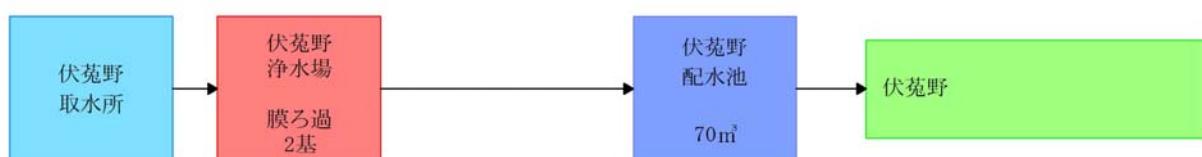
## 長野水系



## 秋津川水系



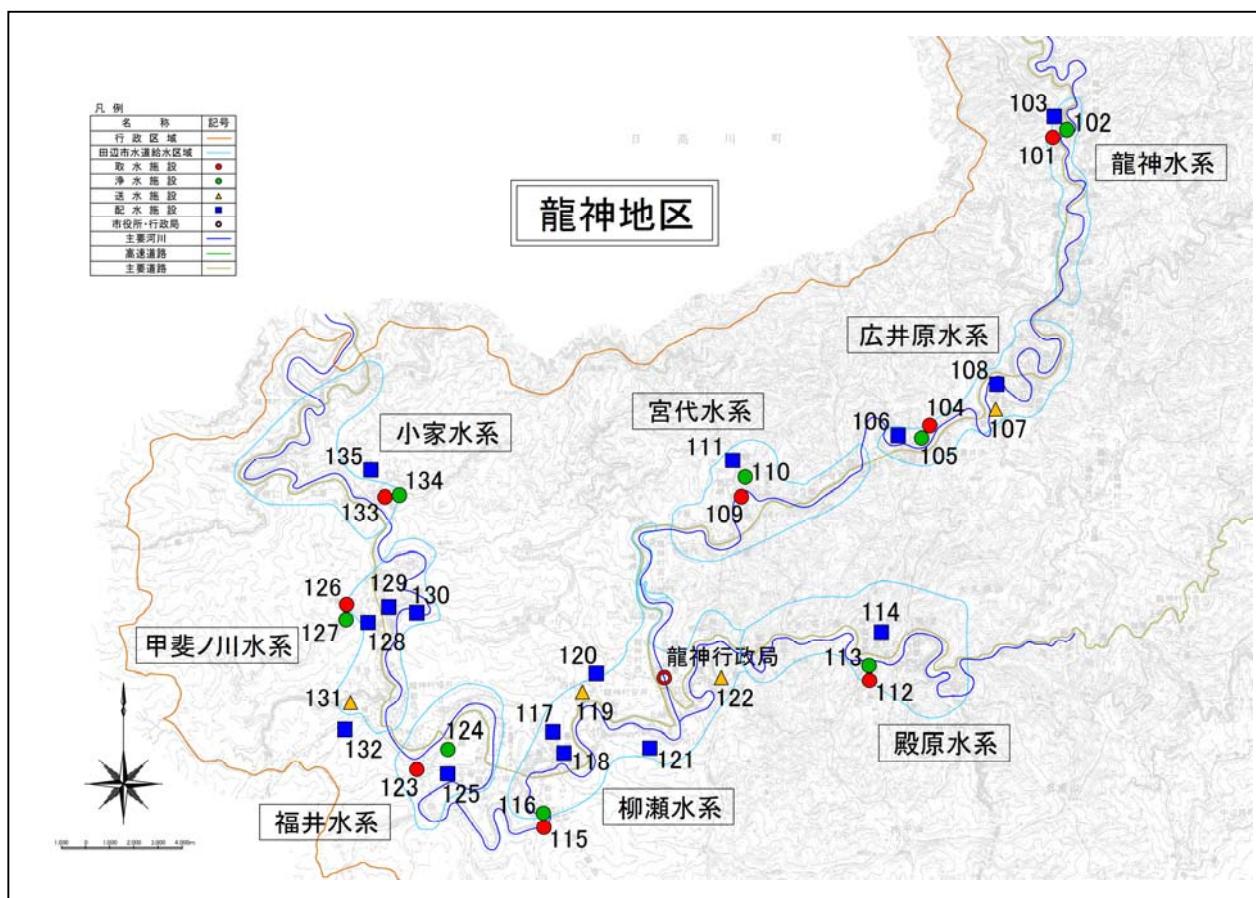
## 伏菟野水系



## (2) 龍神地区の水道施設

龍神地区は8つの水系に分かれており、ほとんどの水系の施設が平成5年以降に整備しているため、比較的新しいといえます。水源は表流水、地下水など様々ですが、浄水方法は急速ろ過方式で統一しています。

【龍神地区の施設位置図】

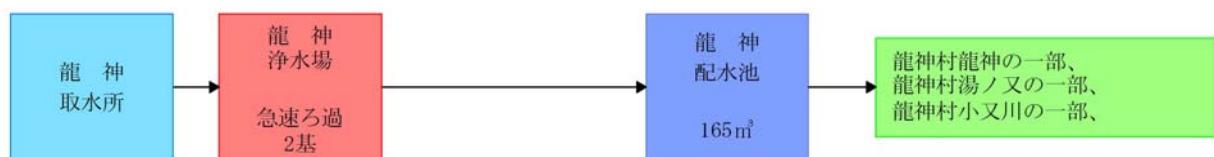


龍神地区水道施設一覧

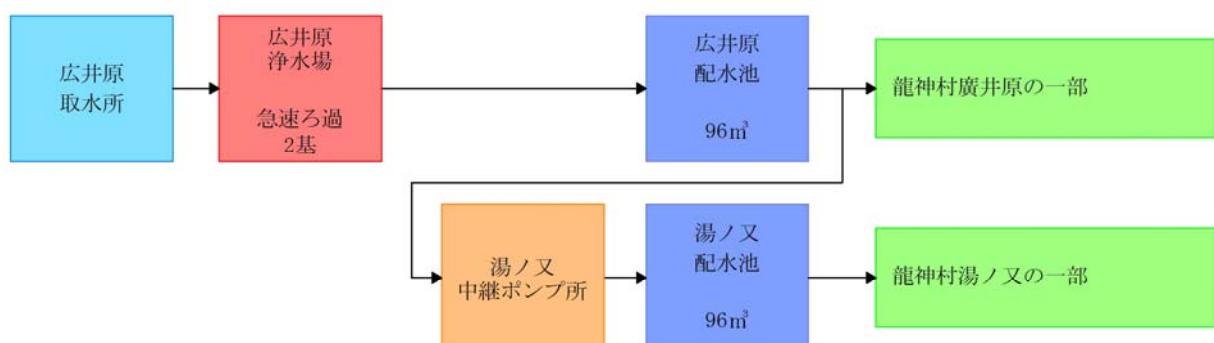
101 龍神取水所	111 宮代配水池	121 上村配水池	131 手谷中継ポンプ所
102 龍神浄水場	112 殿原取水所	122 東中継ポンプ所(休止)	132 手谷配水池
103 龍神配水池	113 殿原浄水場	123 福井取水所	133 小家取水所
104 広井原取水所	114 殿原配水池	124 福井浄水場	134 小家浄水場
105 広井原浄水場	115 柳瀬取水所	125 福井配水池	135 小家配水池
106 広井原配水池	116 柳瀬浄水場	126 甲斐ノ川取水所	
107 湯ノ又中継ポンプ所	117 柳瀬配水池	127 甲斐ノ川浄水場	
108 湯ノ又配水池	118 築根配水池	128 甲斐ノ川配水池	
109 宮代取水所	119 四坊谷中継ポンプ所	129 本村配水池	
110 宮代浄水場	120 四坊谷配水池	130 方栗配水池	

## 【龍神地区施設系統図】

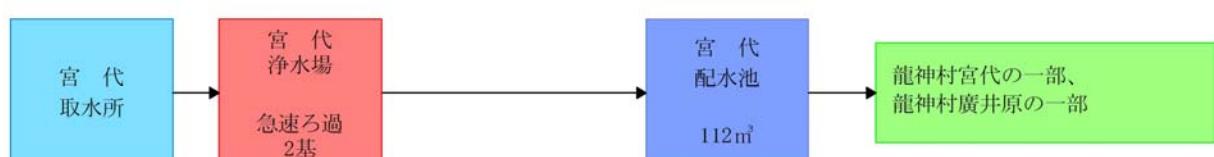
## 龍神水系



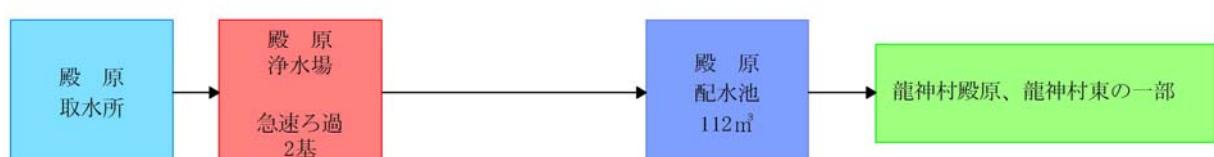
## 広井原水系



## 宮代水系



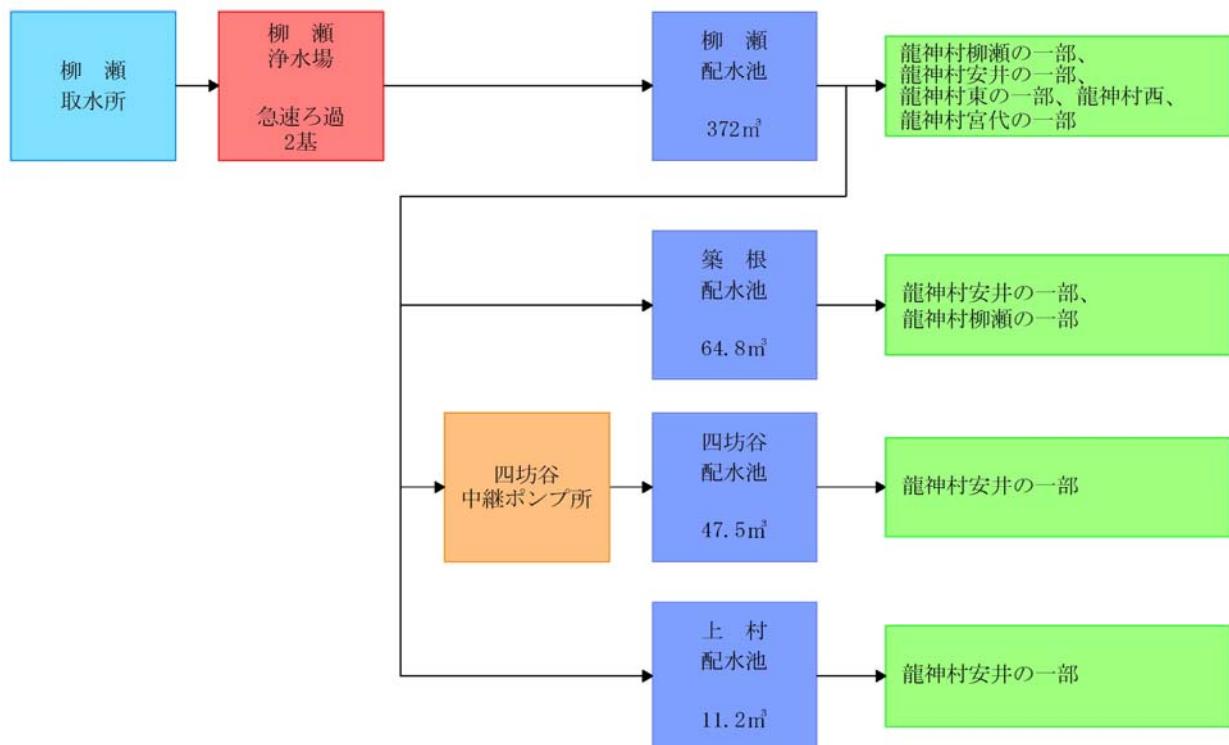
## 殿原水系



## 【殿原浄水場】



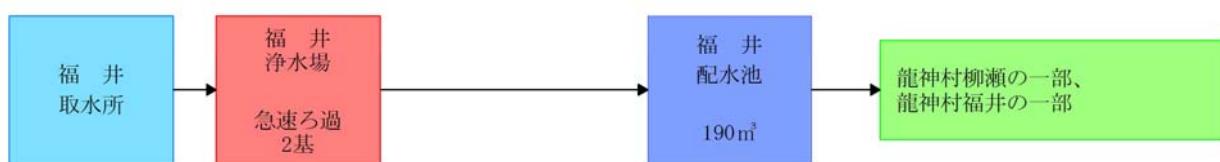
柳瀬水系



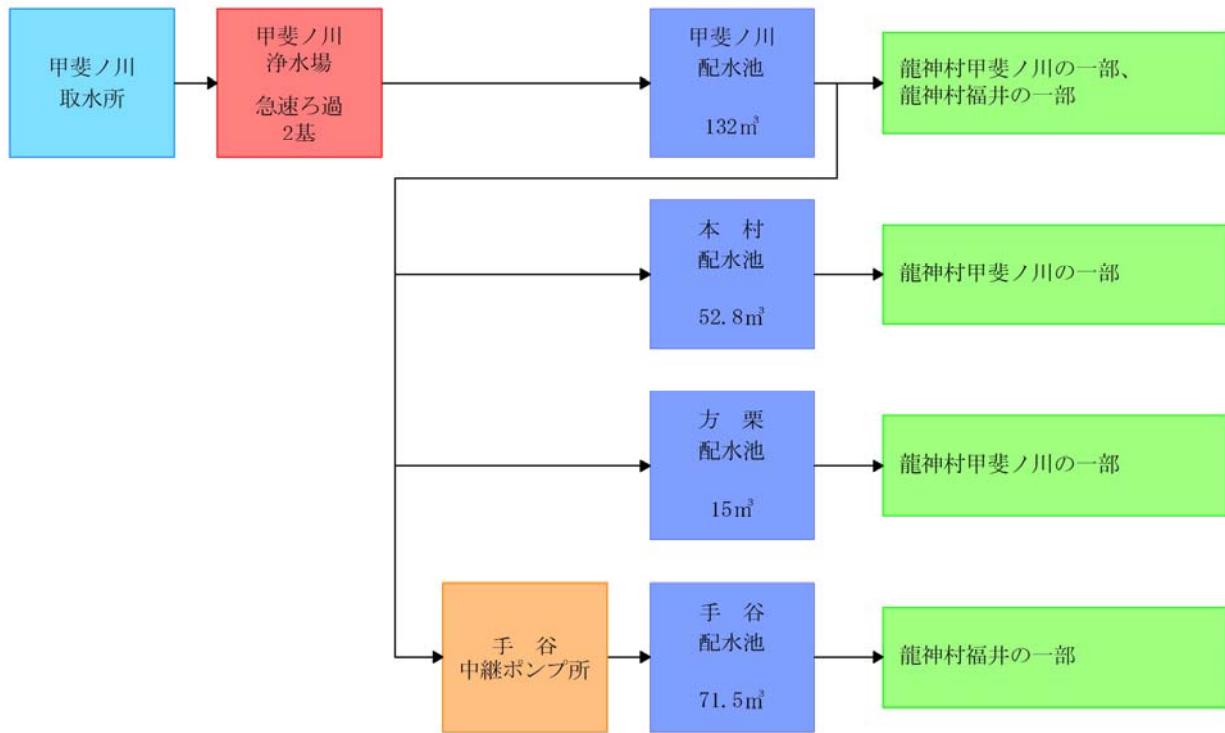
【柳瀬净水場】



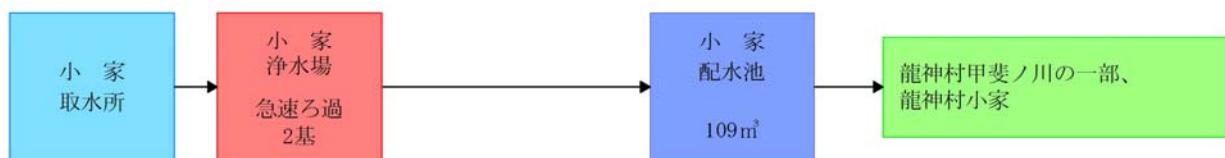
福井水系



## 甲斐ノ川水系



## 小家水系



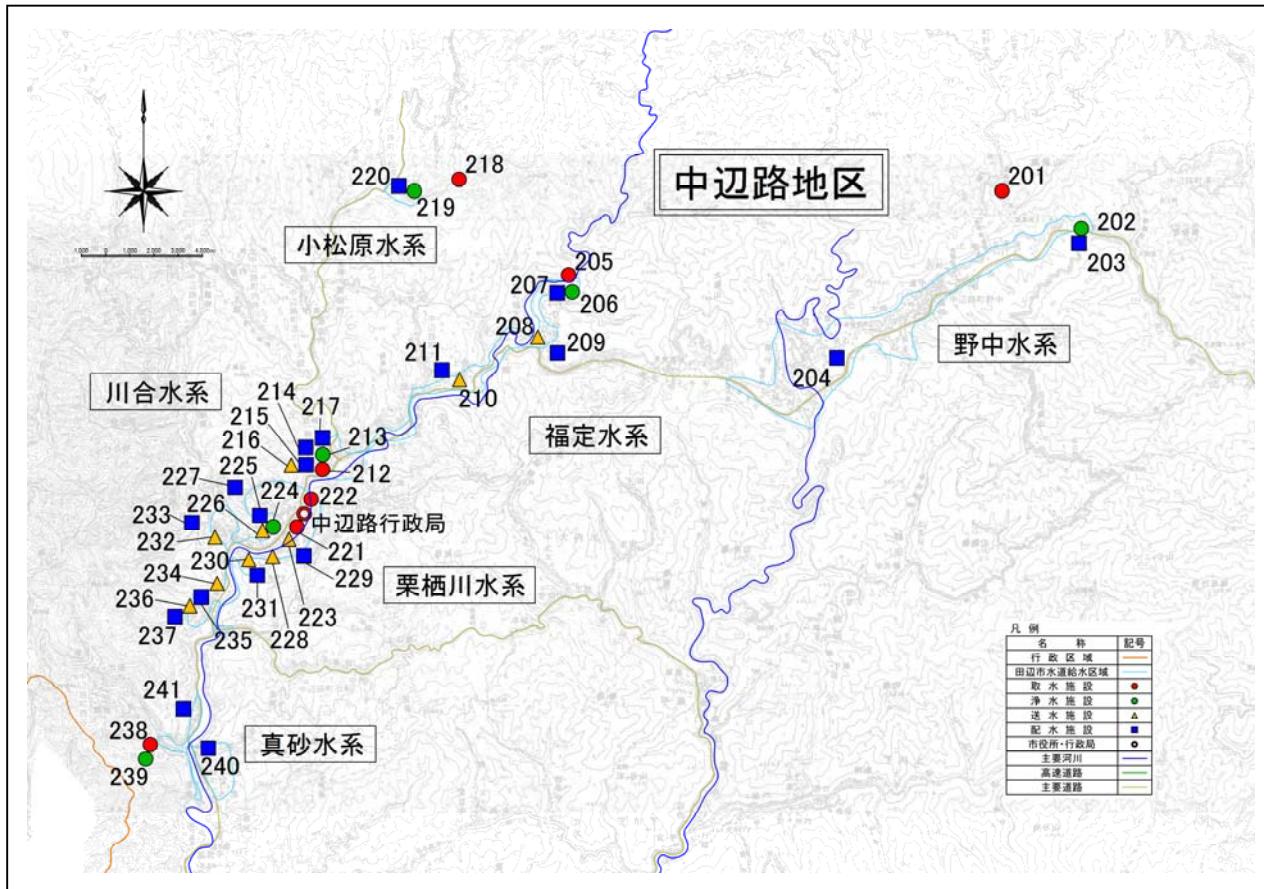
【小家浄水場】



## (3) 中辺路地区の水道施設

中辺路地区は6つの水系に分かれており、小松原水系を除く5つの水系の施設については、平成10年度から平成27年度にかけて計画的に施設の更新及び整備を行ってまいりました。水源は表流水、湧水、地下水など様々ですが、浄水方法は小松原水系のみ緩速ろ過方式、その他5水系は急速ろ過方式を採用しています。

【中辺路地区の施設位置図】

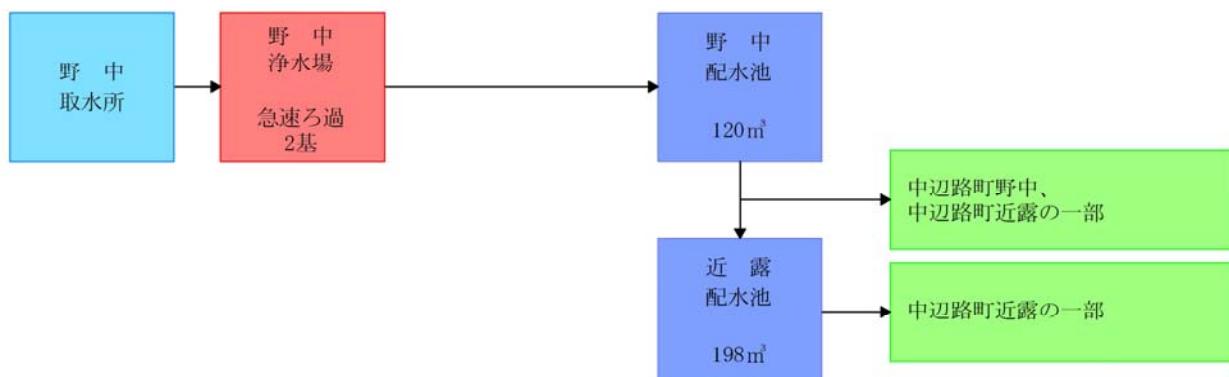


中辺路地区水道施設一覧

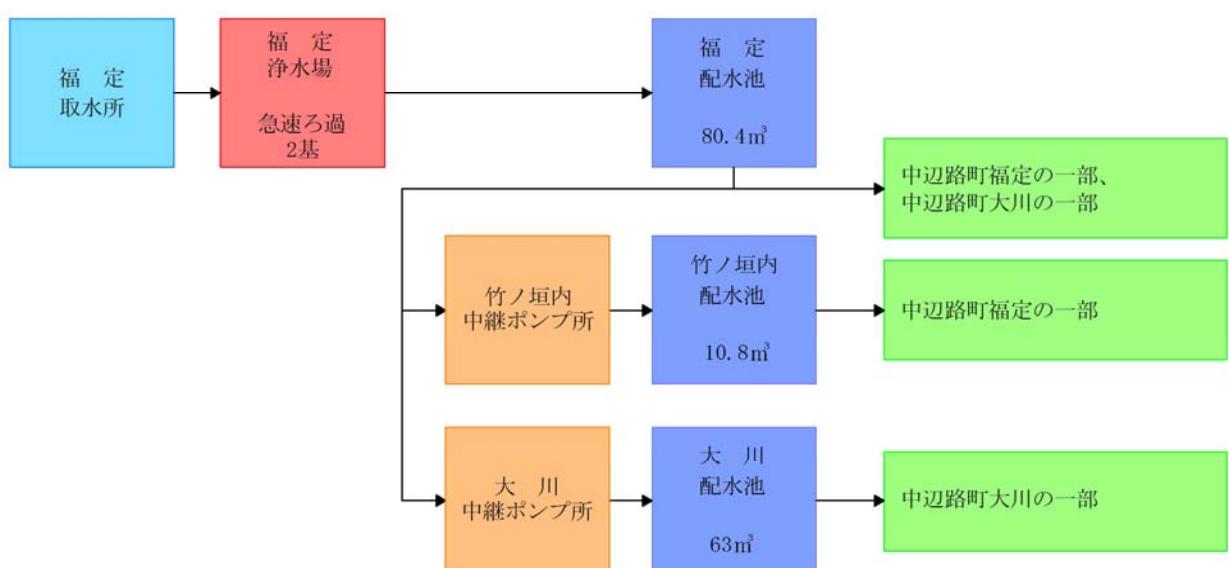
201 野中取水所	212 川合取水所	223 栗栖川原水中継ポンプ所	234 峰第1中継ポンプ所
202 野中浄水場	213 川合浄水場	224 栗栖川浄水場	235 峰第1配水池
203 野中配水池	214 川合第1配水池	225 栗栖川第1・第2配水池	236 峰第2中継ポンプ所
204 近露配水池	215 川合第2配水池	226 栗栖川浄水場中継ポンプ所	237 峰第2配水池
205 福定取水所	216 川合中継ポンプ所	227 栗栖川第3配水池	238 真砂取水所
206 福定浄水場	217 川合第3配水池	228 野勢古田中継ポンプ所	239 真砂浄水場
207 福定配水池	218 小松原取水所	229 野勢古田配水池	240 北郡配水池
208 竹ノ垣内中継ポンプ所	219 小松原浄水場	230 古道ヶ丘中継ポンプ所	241 真砂第1第・2配水池
209 竹ノ垣内配水池	220 小松原配水池	231 古道ヶ丘配水池	
210 大川中継ポンプ所	221 栗栖川第1取水所	232 小皆中継ポンプ所	
211 大川配水池	222 栗栖川第2取水所	233 小皆配水池	

## 【中辺路地区施設系統図】

## 野中水系



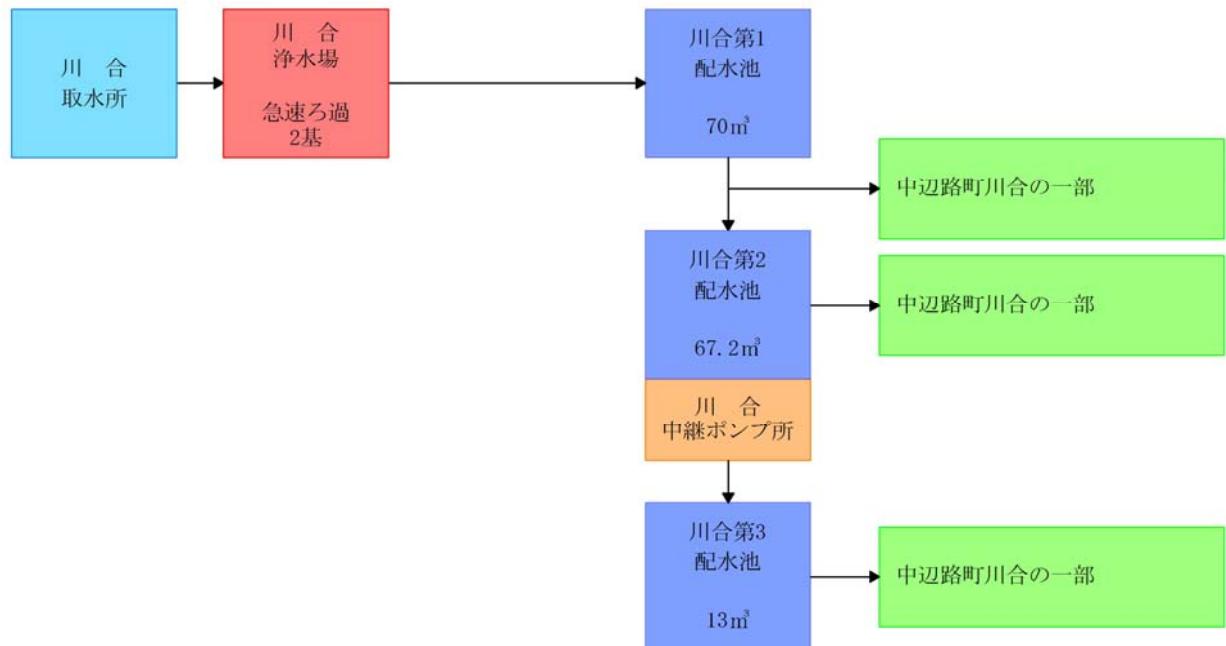
## 福定水系



## 【福定取水所】



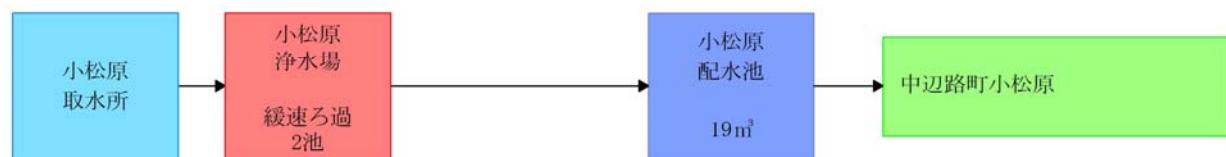
### 川合水系



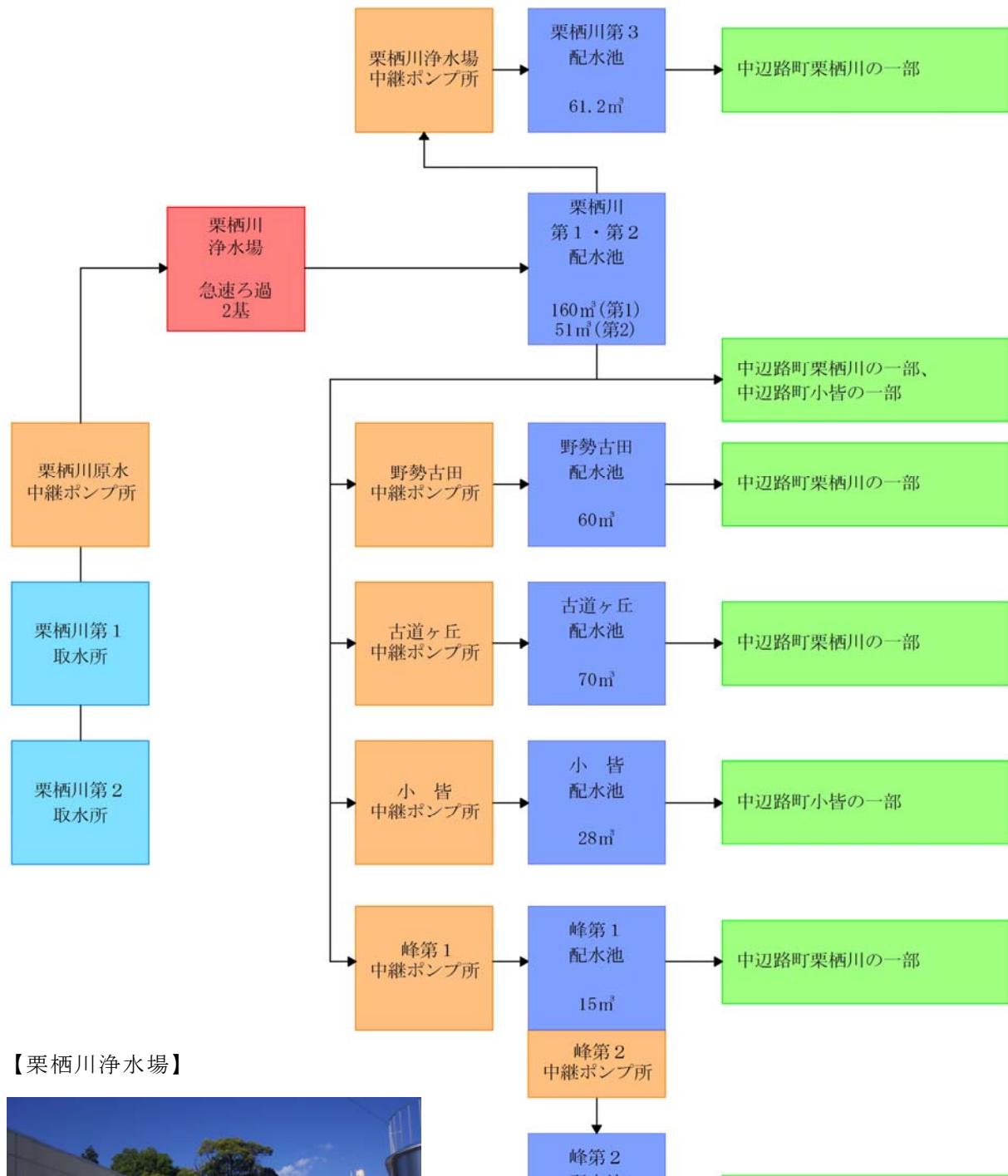
【川合浄水場】



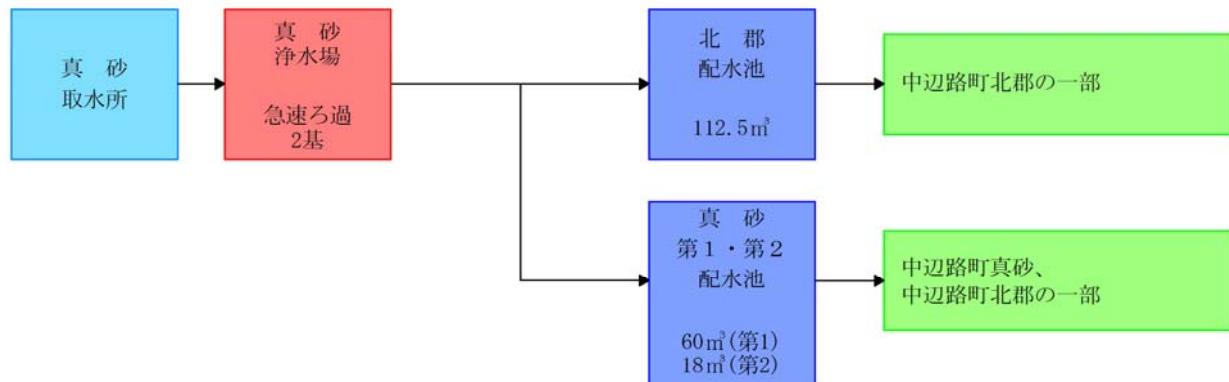
### 小松原水系



## 栗栖川水系



### 真砂水系



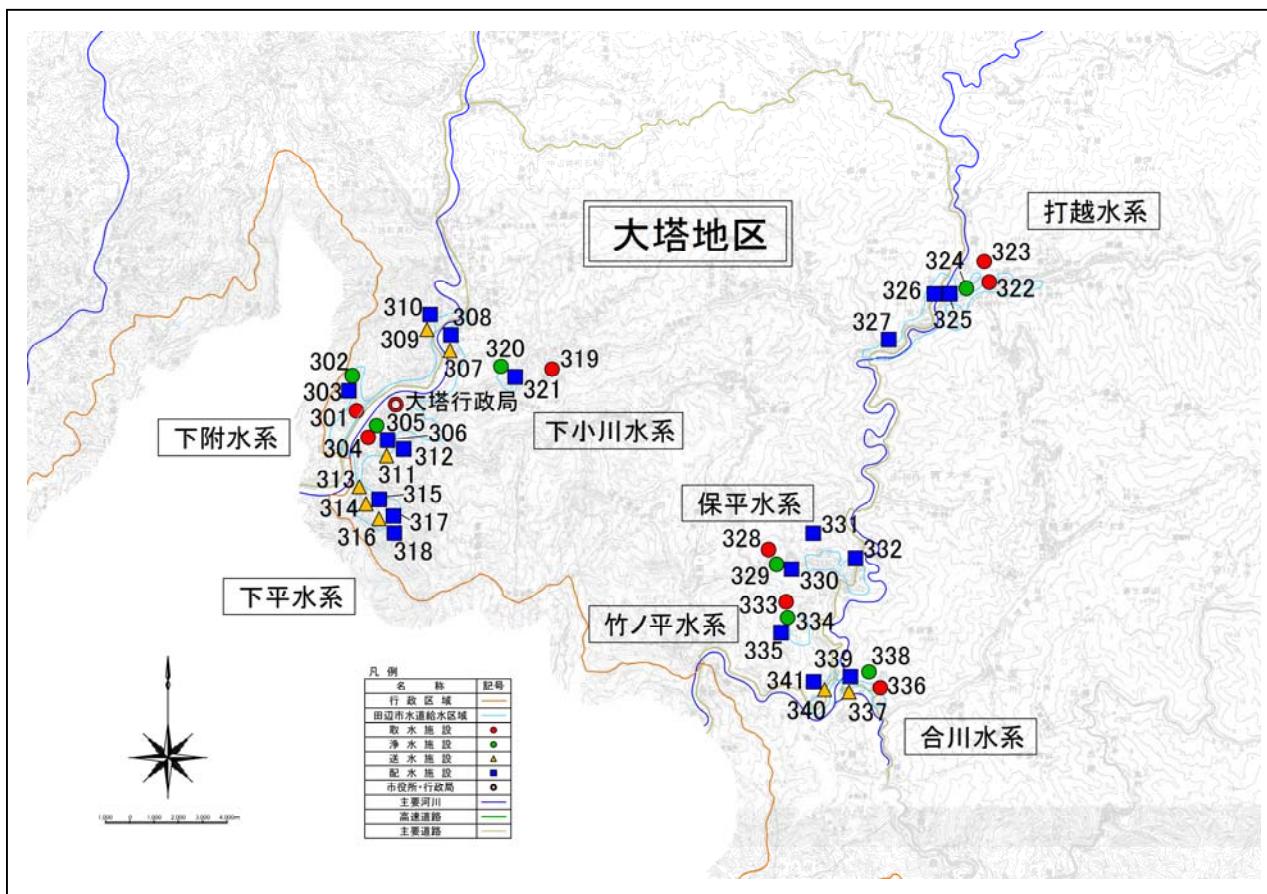
【真砂浄水場】



#### (4) 大塔地区の水道施設

大塔地区は7つの水系に分かれており、近年、特に老朽化が進行していると判断した打越水系、保平水系、竹ノ平水系の主要施設について更新を行いました。残る水系の主要施設についても、今後、計画的に更新していく必要があります。水源は表流水または地下水であり、浄水処理方式については、緩速ろ過、急速ろ過、塩素滅菌のほか、膜ろ過方式と様々な方式を採用しています。

### 【大塔地区の施設位置図】

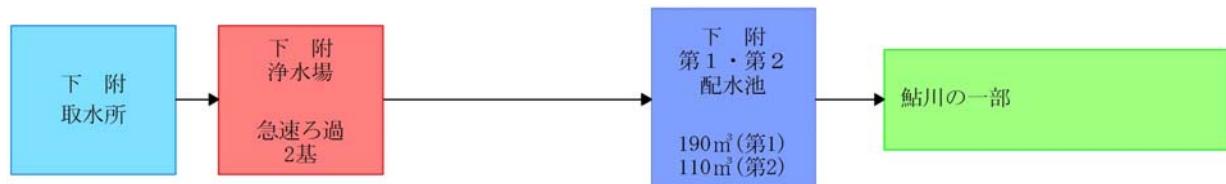


## 大塔地区水道施設一覧

301	下附取水所	312	下平第3配水池	323	打越第2取水所	334	竹ノ平浄水場
302	下附浄水場	313	鉛山第1中継ポンプ所	324	打越浄水場	335	竹ノ平配水池
303	下附第1・第2配水池	314	鉛山第2中継ポンプ所	325	打越第1配水池	336	合川取水所
304	下平取水所	315	鉛山第2配水池	326	打越第2配水池	337	合川原中継ポンプ所
305	下平浄水場	316	鉛山第3中継ポンプ所	327	富里上野配水池	338	合川浄水場
306	下平第1・第2配水池	317	鉛山第3配水池	328	保平取水所	339	合川第1・第2配水池
307	向越中継ポンプ所	318	鉛山第4配水池	329	保平浄水場	340	合川中継ポンプ所
308	向越第1・第2配水池	319	下小川取水所	330	保平第1配水池	341	合川第3配水池
309	能登中継ポンプ所	320	下小川浄水場	331	保平第2配水池		
310	能登配水池	321	下小川配水池	332	地下第1・第2配水池		
311	下平中継ポンプ所	322	打越第1取水所	333	竹ノ平取水所		

【大塔地区施設系統図】

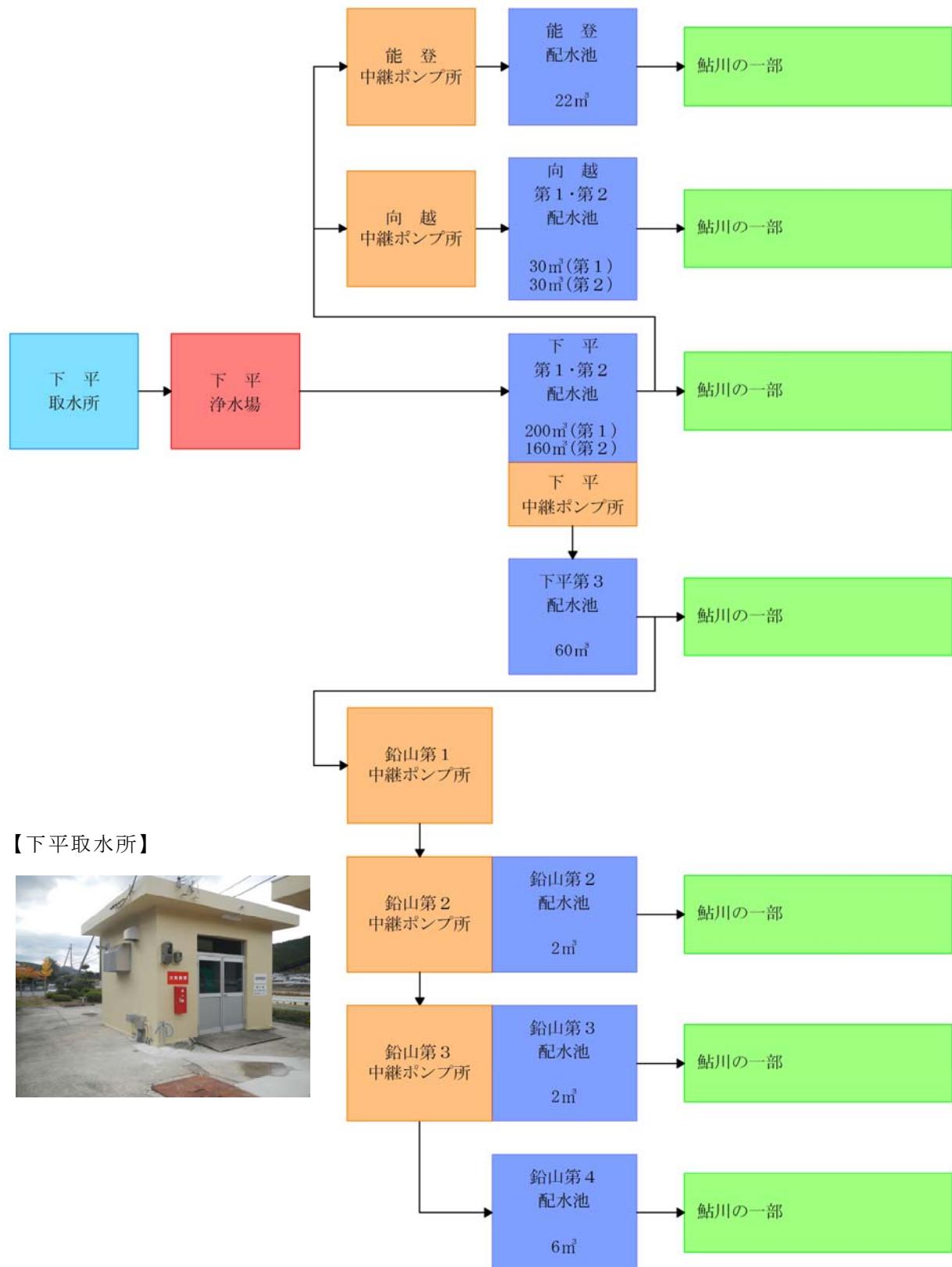
下附水系



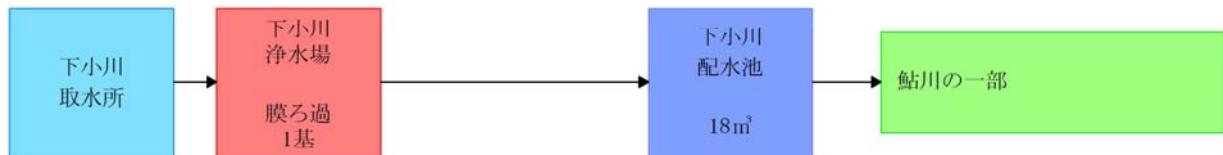
【下附浄水場】



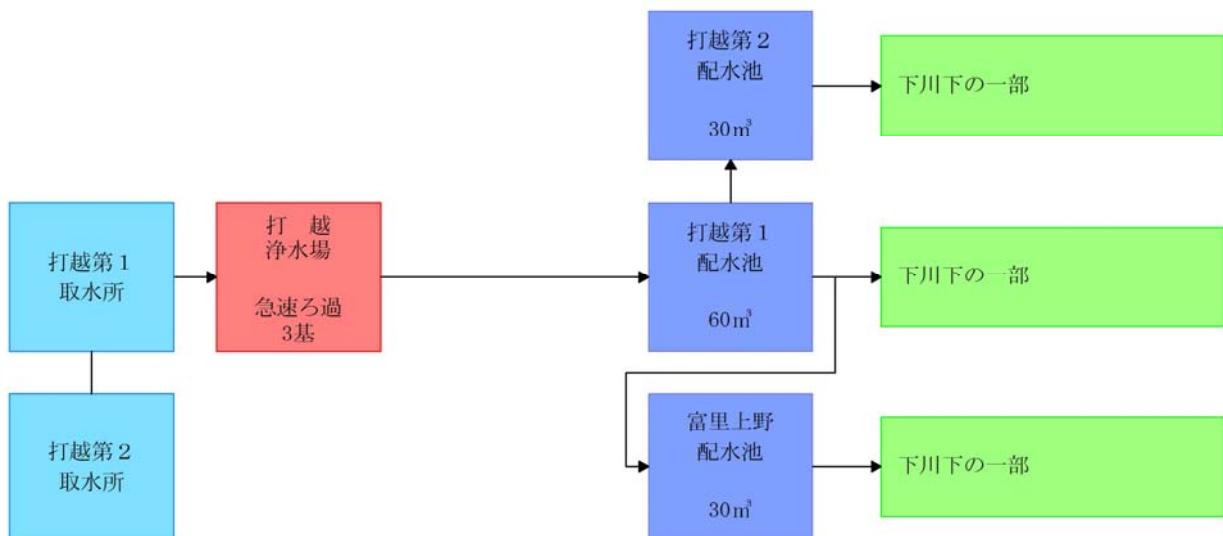
## 下平水系



### 下小川水系



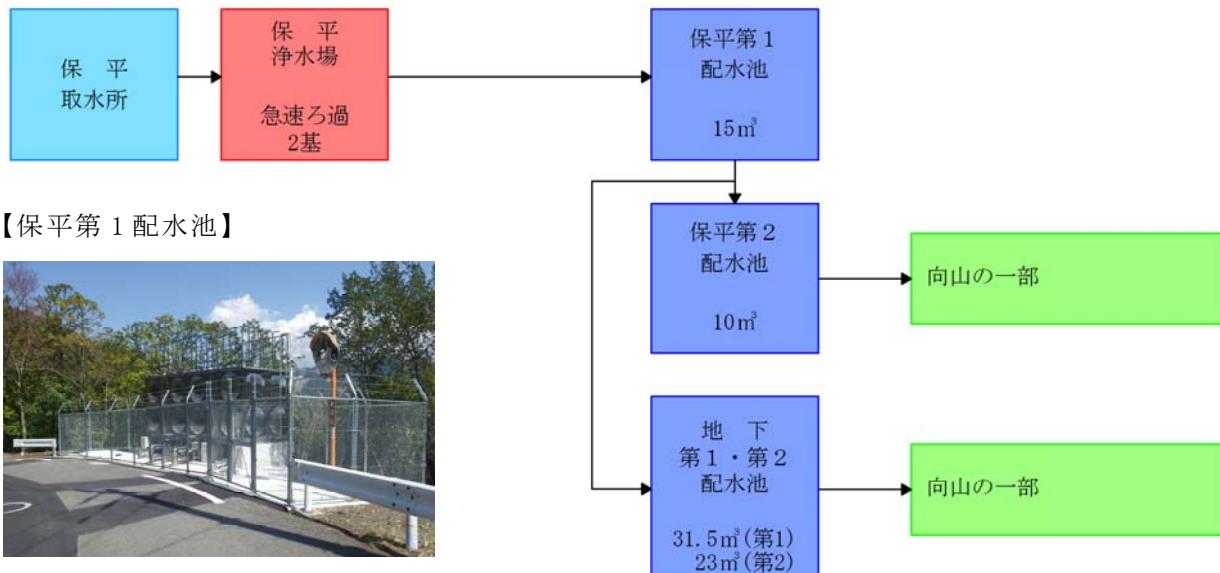
### 打越水系



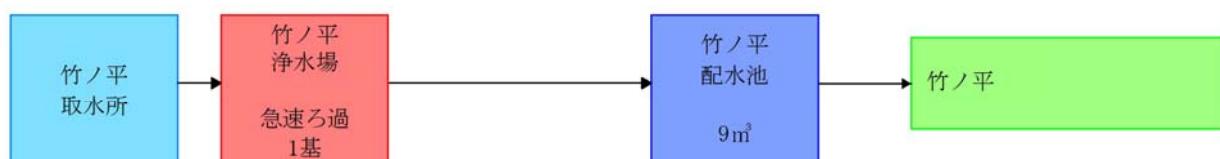
【打越浄水場】



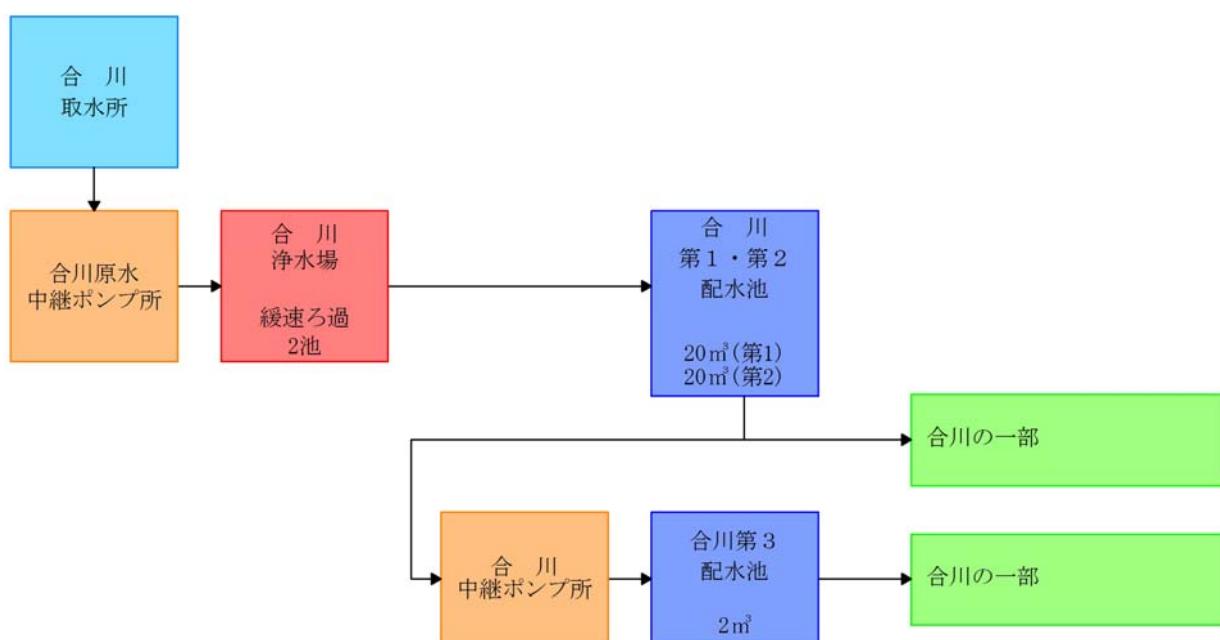
## 保平水系



## 竹ノ平水系



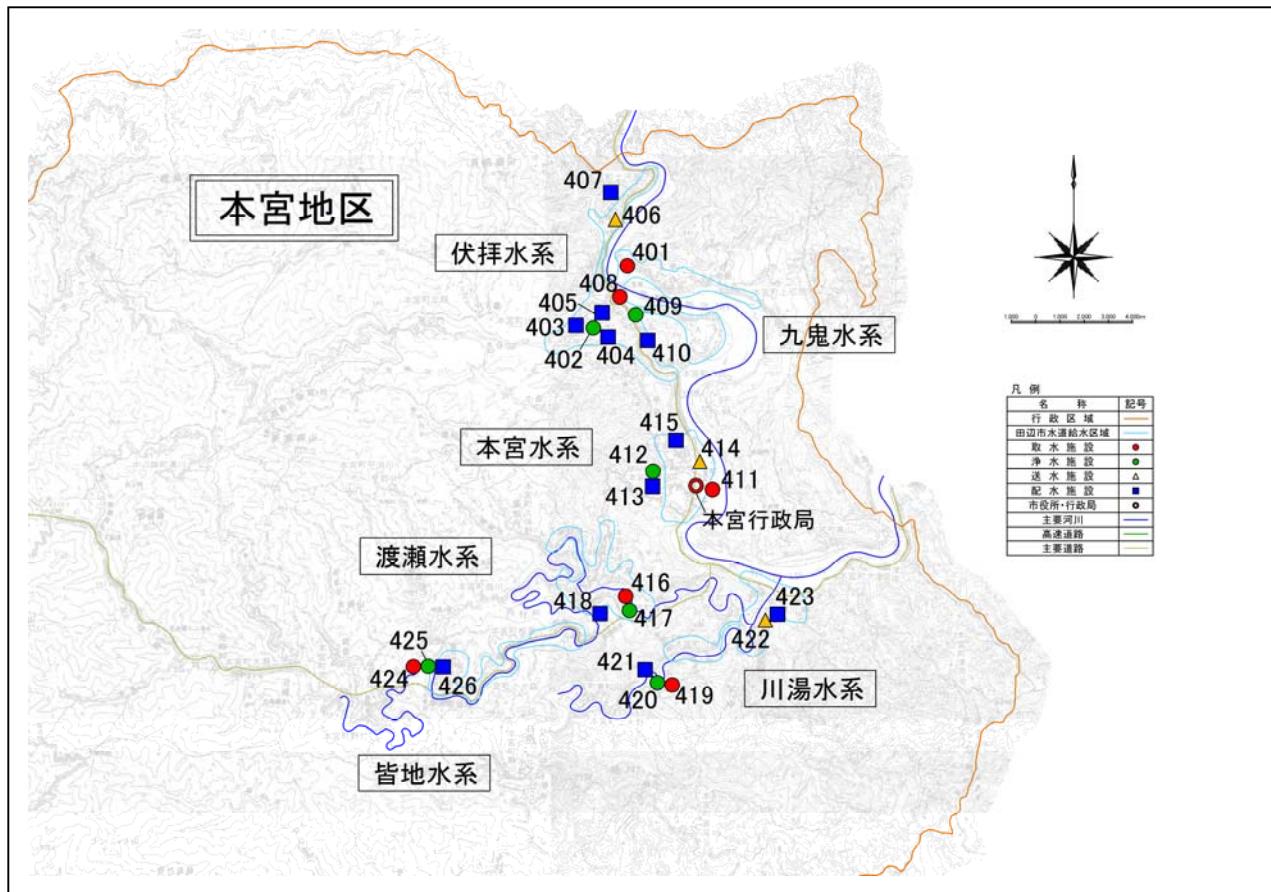
## 合川水系



## (5) 本宮地区の水道施設

本宮地区は6つの水系に分かれており、九鬼水系と川湯水系の一部を除く主要施設については、平成5年以降に整備しているため、比較的新しいといえます。中には老朽化が進行している施設も残っていることから、今後、計画的に更新していく必要があります。水源は、伏流水、地下水など様々ですが、浄水方法は九鬼水系のみ緩速ろ過方式を採用しており、その他の水系では膜ろ過方式を採用しています。

【本宮地区の施設位置図】

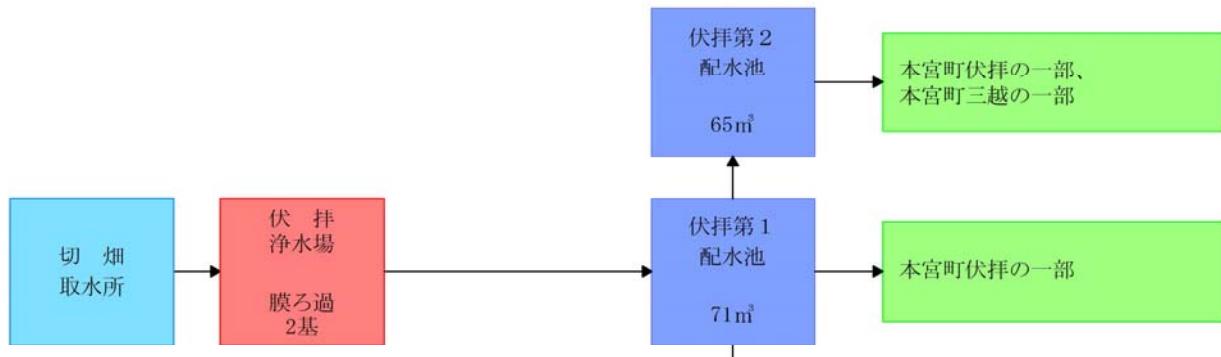


本宮地区水道施設一覧

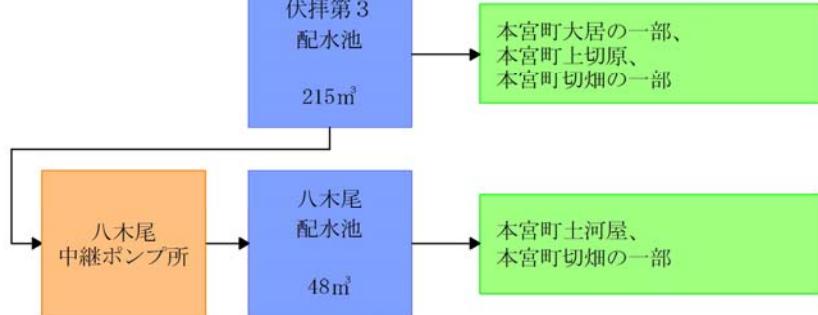
401	切畠取水所	408	九鬼取水所	415	祓所配水池	422	譲川中継ポンプ場
402	伏拝浄水場	409	九鬼浄水場	416	渡瀬取水所	423	譲川配水池
403	伏拝第1配水池	410	九鬼配水池	417	渡瀬浄水場	424	皆地取水所
404	伏拝第2配水池	411	本宮取水所	418	下湯川配水池	425	皆地浄水場
405	伏拝第3配水池	412	本宮浄水場	419	川湯取水所	426	皆地配水池
406	八木尾中継ポンプ所	413	本宮配水池	420	川湯浄水場		
407	八木尾配水池	414	祓所中継ポンプ所	421	川湯第1・第2配水池		

【本宮地区施設系統図】

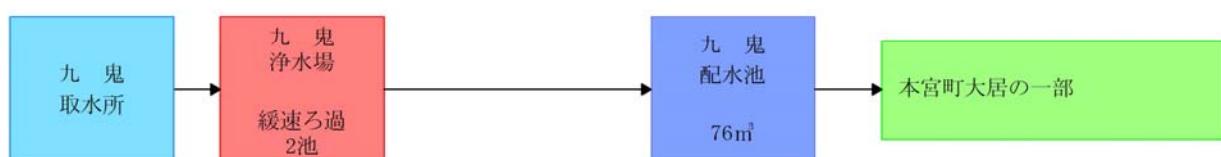
## 伏拝水系



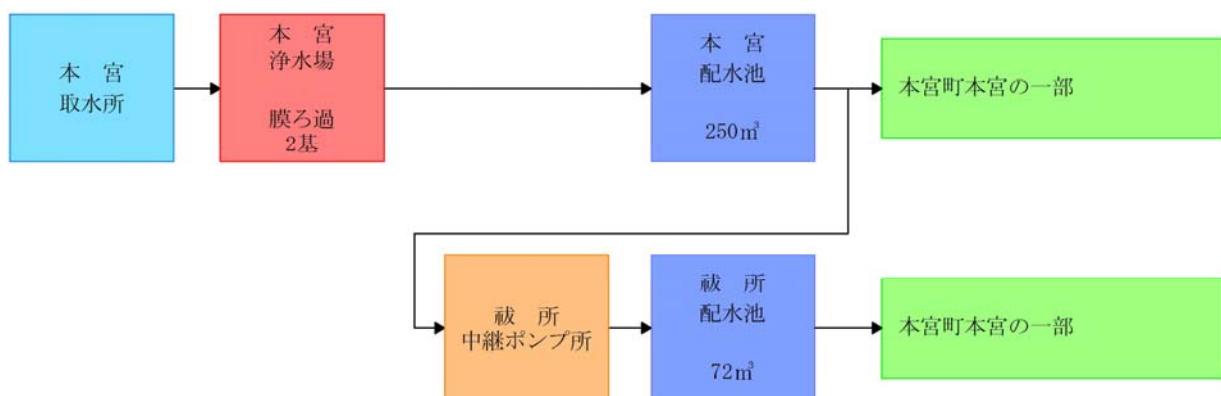
【伏拝第3配水池】



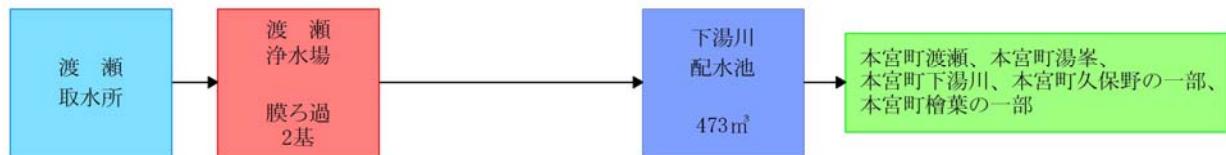
## 九鬼水系



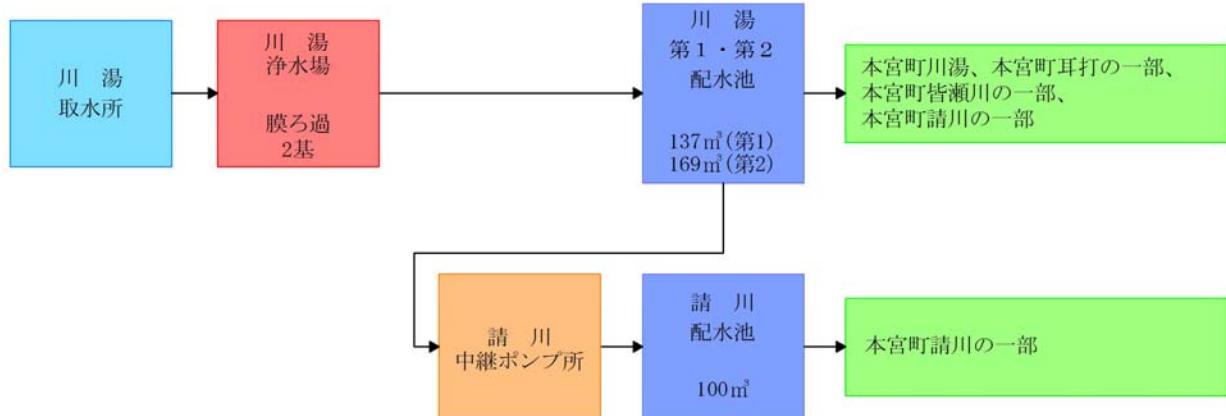
## 本宮水系



渡瀬水系



川湯水系



【川湯浄水場】



皆地水系

